

厚生労働大臣 殿

国立研究開発法人国立がん研究センター
理事長 中釜 斉

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒104-0045 東京都中央区築地5丁目1-1
氏名	国立研究開発法人国立がん研究センター

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

3 所在の場所

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目1-1
電話(03) 3542 - 2511

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科		16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	病理診断科	3	緩和ケア内科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
				578	578

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	358.0	24.5	382.5	看護補助者	46.0	診療エックス線技師	0.0
歯科医師	3.0	1.5	4.5	理学療法士	5.0	臨床検査技師	86.0
薬剤師	79.0	0.0	79.0	作業療法士	2.0	衛生検査技師	0.0
保健師	0.0	0.0	0.0	視能訓練士	1.0	その他	0.0
助産師	0.0	0.0	0.0	義肢装具士	0.0	あん摩マッサージ指圧師	0.0
看護師	704.0	18.4	722.4	臨床工学士	14.0	医療社会事業従事者	9.0
准看護師	0.0	0.0	0.0	栄養士	0.0	その他の技術員	97.0
歯科衛生士	4.0	0.4	4.4	歯科技工士	2.0	事務職員	214.0
管理栄養士	10.0	0.0	10.0	診療放射線技師	86.0	その他の職員	174.0

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	37	眼科専門医	2
外科専門医	60	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	2	放射線科専門医	30
小児科専門医	8	脳神経外科専門医	5
皮膚科専門医	2	整形外科専門医	6
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	11
産婦人科専門医	10	救急科専門医	0
		合計	189

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (島田 和明) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

平成26年7月から、診療科長としてリスクマネージャー業務を遂行し診療科内の医療安全管理業務に携わり、加えて、診療担当副院長として医療事故等防止対策委員会委員の業務経験がある。
令和2年4月以降は、病院長として、医療事故等防止対策委員会委員長の業務に携わっている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	494.3 人	0 人	494.3 人

1日当たり平均外来患者数	1511.5 人	60.5 人	1572.0 人
1日当たり平均調剤数	3444.7		剤
必要医師数	135		人
必要歯科医師数	2		人
必要薬剤師数	17		人
必要(准)看護師数	298		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	216.7 m ²	鉄骨構造	病床数	8 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	472.42 m ²	病床数	39	床
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	55.46 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	662.90 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、全自動免疫化学分析測定装置、全自動化学発光測定装置、生化学用自動分析装置、全自動薬物濃度測定装置、尿自動分析装置		
細菌検査室	161.04 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、血液培養自動分析装置		
病理検査室	490.59 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結切片作製装置、自動封入装置、密閉式自動固定包埋装置、対面作業用下降流プッシュプル型換気装置		
病理解剖室	142.15 m ²	鉄骨構造	(主な設備)	ホルマリン作製装置		
研究室	38936 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	(主な設備)	遺伝子導入装置、ゲル撮影装置、画像診断装置、細胞解析装置		
講義室	887.03 m ²	鉄骨構造	室数	4 室	収容定員	50～300 人
図書室	376.64 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	9万 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		99.5	%	逆紹介率		93.4	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数					9,658	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数					9,061	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数					0	人
	D: 初診の患者の数					9,703	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
山本 修一	地域医療機能推進機構 理事 千葉大学大学院医学研 究院眼科学前教授 千葉大学医学部附属病 院前病院長	○	特定機能病院の前管理 者であり、医療に係る安 全管理に関する識見を 有する。	無	1
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病 院 医療安全担当副院 長／医療安全管理部長		特定機能病院の医療安 全管理部門に所属し、 医療に係る安全管理に 関する識見を有する。	無	1
川崎 志保理	順天堂大学医学部 心臓血管外科学・病院 管理学客員准教授		特定機能病院の医療安 全管理部門で従事した 経験があり、医療に係 る安全管理に関する識 見を有する。	無	1
田島 優子	さわやか法律事務所 弁護士		弁護士として政府の諮 問機関等医療問題に関 わっており、医療に係 る法律に関する識見を有 する。	無	1
桜井 なおみ	一般社団法人 CSR プ ロジェクト 代表理事		患者団体の代表者であ り、医療を受ける者とし て、医療安全管理につ いて識見を有する。	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページへ記載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 （人）
該当なし	
先進医療の種類合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)	0
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	2
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	2
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがI期、II期又はIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	1
陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。) 【外科的治療を実施する施設】	0
術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	65
プローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断 胃上皮性病変	56
イマチニブ経口投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併用療法 進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	0
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る)	7
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(非小細胞肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、膵がん又は胆道がんに限る。)	0
メトホルミン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法 膠芽腫(初発のものであって、テモゾロミド経口投与及び放射線治療の併用療法後のものに限る)	9
シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る)	1
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	15
ラメルテオン経口投与療法 悪性腫瘍(六十五歳以上の患者に係るものに限る。)	44
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	3
先進医療の種類の合計数	15
取扱い患者数の合計(人)	205

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	筋萎縮性側索硬化症	3	56	閉塞性細気管支炎	106
2	パーキンソン病	36	57	副甲状腺機能低下症	65
3	シャルコー・マリー・トゥース病	1	58	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4
4	重症筋無力症	14	59	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	4
5	多発性硬化症／視神経脊髄炎	4	60	強直性脊椎炎	1
6	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1	61	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
7	もやもや病	2	62	胆道閉鎖症	1
8	進行性多巣性白質脳症	2	63	IgG4関連疾患	4
9	神経線維腫症	7	64	黄斑ジストロフィー	1
10	表皮水疱症	1	65	好酸球性副鼻腔炎	2
11	膿疱性乾癬(汎発型)	1	66		
12	スティーヴンス・ジョンソン症候群	15	67		
13	中毒性表皮壊死症	1	68		
14	結節性多発動脈炎	1	69		
15	悪性関節リウマチ	1	70		
16	バージャー病	2	71		
17	全身性エリテマトーデス	9	72		
18	皮膚筋炎／多発性筋炎	10	73		
19	混合性結合組織病	2	74		
20	シェーグレン症候群	491	75		
21	ベーチェット病	8	76		
22	特発性拡張型心筋症	7	77		
23	肥大型心筋症	21	78		
24	再生不良性貧血	15	79		
25	自己免疫性溶血性貧血	55	80		
26	特発性血小板減少性紫斑病	67	81		
27	血栓性血小板減少性紫斑病	2	82		
28	IgA 腎症	3	83		
29	多発性嚢胞腎	2	84		
30	後縦靱帯骨化症	6	85		
31	広範脊柱管狭窄症	1	86		
32	特発性大腿骨頭壊死症	3	87		
33	下垂体性PRL分泌亢進症	1	88		
34	クッシング病	1	89		
35	アジソン病	4	90		
36	サルコイドーシス	8	91		
37	特発性間質性肺炎	23	92		
38	肺動脈性肺高血圧症	3	93		
39	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	94		
40	バッド・キアリ症候群	1	95		
41	特発性門脈圧亢進症	1	96		
42	原発性胆汁性胆管炎	3	97		
43	自己免疫性肝炎	7	98		
44	クローン病	4	99		
45	潰瘍性大腸炎	64	100		
46	遺伝性周期性四肢麻痺	1	101		
47	脊髄空洞症	2	102		
48	遺伝性ジストニア	1	103		
49	結節性硬化症	2	104		
50	色素性乾皮症	1	105		
51	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3	106		
52	マルファン症候群	1	107		
53	ウィルソン病	2	108		
54	急速進行性糸球体腎炎	1	109		
55	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	110		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	65
合計患者数(人)	1,119

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ 情報通信機器を用いた診療にかかる基準	・ 術後疼痛管理チーム加算
・ 特定機能病院入院基本料(一般病棟(7対1))	・ 後発医薬品使用体制加算1
・ 診療録管理体制加算1	・ 病棟薬剤業務実施加算1
・ 医師事務作業補助体制加算1(20対1)	・ 病棟薬剤業務実施加算2
・ 25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者5割未満)	・ データ提出加算2イ
・ 夜間100対1急性期看護補助体制加算(急性期看護補助体制加算の注2)	・ 入退院支援加算1
・ 夜間看護体制加算(急性期看護補助体制加算の注3)	・ 入院時支援加算(入退院支援加算の注7)
・ 看護補助体制充実加算(急性期看護補助体制加算の注4)	・ 総合機能評価加算(入退院支援加算の注8)
・ 看護職員夜間16対1配置加算1	・ 認知症ケア加算1
・ 療養環境加算	・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
・ 重症者等療養環境特別加算	・ 排尿自立支援加算
・ 無菌治療室管理加算1	・ 特定集中治療室管理料1
・ 無菌治療室管理加算2	・ (特定集中治療室管理料の注1)
・ 放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・ 早期離床・リハビリテーション加算(特定集中治療室管理料の注4)
・ 放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・ 早期栄養介入管理加算(特定集中治療室管理料の注5)
・ 緩和ケア診療加算	・ 小児入院医療管理料3
・ がん拠点病院加算	・ (小児入院医療管理料の注2)
・ がんゲノム拠点病院加算	・ 地域歯科診療支援病院歯科初診料
・ 栄養サポートチーム加算	・ 歯科外来診療環境体制加算2
・ 医療安全対策加算1	
・ 感染対策向上加算1	
・ 指導強化加算(感染対策向上加算の注2)	
・ 患者サポート体制充実加算	
・ 報告書管理体制加算	
・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ 呼吸ケアチーム加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん性疼痛緩和指導管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算2(乳腺悪性腫瘍手術の注2)
・がん患者指導管理料イ	・乳輪温存乳房切除術(腋窩廓清を伴わないもの)
・がん患者指導管理料ロ	・乳輪温存乳房切除術(腋窩廓清を伴うもの)
・がん患者指導管理料ハ	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・がん患者指導管理料ニ	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの))
・外来緩和ケア管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来リハビリテーション診療料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来放射線照射診療料	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の注6)	・腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・ニコチン依存症管理料	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・相談支援加算(療養・就労両立支援指導料の注3)	・腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・がん治療連携計画策定料1	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・がん治療連携管理料	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・外来がん患者在宅連携指導料	・腹腔鏡下肝切除術
・外来排尿自立指導料	・腹腔鏡下膀胱腫瘍摘出術
・薬剤管理指導料	・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術
・医療機器安全管理料1	・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・医療機器安全管理料2	・腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・造血器腫瘍遺伝子検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・遺伝学的検査	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨髓微小残存病変量測定	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・BRCA1/2遺伝子検査	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・がんゲノムプロファイリング検査	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

・検体検査管理加算(Ⅰ)(検体検査判断料の注4)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・検体検査管理加算(Ⅳ)(検体検査判断料の注4)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・国際標準検査管理加算(検体検査判断料の注5)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・遺伝カウンセリング加算(検体検査判断料の注6)	・腹腔鏡下膣式子宮全摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算(検体検査判断料の注7)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・神経学的検査	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・CT透視下気管支鏡検査加算(経気管肺生検法の注2)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・経気管支凍結生検法	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・画像診断管理加算1	・輸血管理料Ⅰ
・画像診断管理加算3	・輸血適正使用加算
・ポジトロン断層撮影	・コーディネート体制充実加算
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影	・麻酔管理料(Ⅰ)
・CT撮影及びMRI撮影	・麻酔管理料(Ⅱ)
・大腸CT撮影加算(コンピューター断層撮影の注7)	・放射線治療専任加算
・乳房MRI撮影加算(磁気共鳴コンピューター断層撮影の注5)	・外来放射線治療加算
・頭部MRI撮影加算(磁気共鳴コンピューター断層撮影の注8)	・高エネルギー放射線治療
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算(処方料の注7、処方箋料の注6)	・1回線量増加加算
・外来化学療法加算1	・強度変調放射線治療(IMRT)
・無菌製剤処理料	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅱ)	・定位放射線治療
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・画像誘導密封小線源治療加算(密封小線源治療の注8)
・がん患者リハビリテーション料	・保険医療機関間の連携による病理診断
・リンパ浮腫複合的治療料	・病理診断管理加算2
・センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術の注)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合)	・歯科治療時医療管理料
・処理骨再建加算(四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術、骨悪性腫瘍手術の注)	・有床義歯咀嚼機能検査1
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算(頭蓋内腫瘍摘出術の注1)	・精密触覚機能検査

・ 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算(頭蓋内腫瘍摘出術の注2)	・ 歯科口腔リハビリテーション料2
・ 内視鏡下脳腫瘍生検術	・ 口腔粘膜処置
・ 内視鏡下脳腫瘍摘出術	・ う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・ 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・ 歯科技工加算
・ 経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・ 医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・ 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)	・ 手術時歯根面レーザー応用加算
・ 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・ 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・ レーザー機器加算
・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1(乳腺悪性腫瘍手術の注1)	・ クラウン・ブリッジ維持管理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当なし	

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回／週	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	16
	剖検率(%)	4.42%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3) 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委元	
EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン＋ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	大江裕一郎	呼吸器内科	10,400,000	委	AMED
Stage III治癒切除大腸癌に対する術後補助療法としてのアスピリンの有用性を検証する二重盲検ランダム化比較試験	高島淳生	消化管内科	19,380,000	委	AMED
アジアがん臨床試験ネットワーク構築に関する事業	島田和明	中央病院	186,940,000	補	AMED
アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築事業	島田和明	中央病院	598,000,000	補	AMED
オピオイド不応の神経障害性疼痛に対するプレガバリンとデュロキセチンの国際共同ランダム化比較試験	松岡弘道	精神腫瘍科	18,200,000	委	AMED
がん幹細胞を標的とした初発膠芽腫の放射線+テモゾロミド+メトホルミン併用療法の第I・II相臨床試験	成田善孝	脳脊髄腫瘍科	17,290,000	委	AMED
がん患者における術後せん妄予防のプレシジョンメディシンの開発	貞廣良一	精神腫瘍科	26,000,000	委	AMED
がん全ゲノム解析の患者還元構築に関する研究	角南久仁子	臨床検査科	460,620,760	委	AMED
がん全ゲノム解析の患者還元構築に関する研究(繰越し)	角南久仁子	臨床検査科	124,949,720	委	AMED
ゲノム医療時代における、がんの遺伝学的中間高リスク群の把握と評価手順の標準化をめざした多施設共同臨床疫学的研究	吉田輝彦	遺伝子診療部門	39,650,000	委	AMED
ゲノム解析に基づいた造血細胞移植後2次固形がん最適個別化医療の実現	森泰昌	病理診断科	59,800,000	委	AMED
せん妄ハイリスクがん患者の術後せん妄予防におけるラメルテオンの有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検化プラセボ対照ランダム化比較試験	松岡弘道	精神腫瘍科	22,899,500	委	AMED
遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の標的治療に関する患者申出療養の実施体制構築	下井辰徳	腫瘍内科	17,290,000	委	AMED
遺伝子パネル検査を超えるコンビネーション医療機器開発:ボーダーレス遺伝子検査	山本昇	先端医療科	39,000,000	委	AMED
高精細内視鏡併用・共焦点レーザー顕微内視鏡を用いた早期胃がんに対する狙撃光学生検の臨床応用と実用化	高丸博之	内視鏡科	19,500,000	委	AMED
高齢者における免疫チェックポイント阻害剤の投与法別における薬物動態と毒性変化、免疫応答解析の前向き観察研究	吉田達哉	呼吸器内科 / 先端医療科	19,500,000	委	AMED
小児・AYAがんに対する国内開発のEZH1/2阻害剤の臨床開発(医師主導治験)	小川千登世	小児腫瘍科	52,000,000	委	AMED

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委元	
小腸腺癌に対する標準治療の確立に関する研究	金光幸秀	大腸外科	17,535,000	委	AMED
進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	吉川貴己	胃外科	19,470,000	委	AMED
進行期固形がん患者における初回治療時のがん遺伝子プロファイリング検査の臨床的有用性を検討する臨床研究	吉田達哉	呼吸器内科	26,000,000	委	AMED
成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究	福田隆浩	造血幹細胞移植科	37,050,000	委	AMED
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタビン＋シスプラチン＋S-1(GCS)療法の第Ⅲ相試験	奥坂拓志	肝胆膵内科	15,498,010	委	AMED
切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究	大幸宏幸	食道外科	17,520,000	委	AMED
前立腺癌に対するMR画像誘導即時適応定位放射線治療の臨床応用を目指す研究	井垣浩	放射線治療科	19,500,000	委	AMED
早期開発から後期開発までのシームレスな研究開発支援体制構築事業	島田和明	中央病院	192,320,000	補	AMED
乳がん根治治療後の慢性痛に対する鍼灸治療の開発	石木寛人	緩和医療科	10,400,000	委	AMED
非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する機能温存手術の確立に関する研究	渡辺俊一	呼吸器外科	7,800,000	委	AMED
AYA世代がん患者の心理的ケアを目的としたピアサポートシステムの開発	平山貴敏	精神腫瘍科	896,220	補	日本学術振興会
AYA世代がん患者の早期症状緩和と心理社会的支援に関するスクリーニング法の開発	平山貴敏	精神腫瘍科	957,368	補	日本学術振興会
AYA世代のがん疼痛治療選択のためのバイオマーカー探索と新たながん疼痛治療の開発	松岡弘道	精神腫瘍科	1,225,400	補	日本学術振興会
AYA世代慢性疾患患者の闘病体験の語り直しに関する研究	松元和子	精神腫瘍科	220,408	補	日本学術振興会
MDM2遺伝子増幅固形がんのバイオマーカーおよび免疫学的応答の基盤研究	小山隆文	先端医療科	330,000	補	日本学術振興会
RSPO融合遺伝子陽性大腸癌の臨床病理学的特徴の解析	橋本大輝	病理診断科	1,389,926	補	日本学術振興会
Single energy CTを用いたヨード定量画像:DECTの代替手法の確立	瓜倉厚志	放射線診断技術室	674,416	補	日本学術振興会
TERTを標的とした悪性髄膜腫の新規治療法開発	高橋雅道	脳脊髄腫瘍科	631,220	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委元	
がんゲノム医療と遺伝性腫瘍に対する患者・医療者の心理的ストレスに関する研究	田辺記子(安藤記子)	遺伝子診療部門	713,800	補	日本学術振興会
がん患者の抑うつ低減のための行動活性化療法を用いたセルフヘルププログラムの開発	小川祐子	精神腫瘍科	558,579	補	日本学術振興会
がん口腔支持医療における半夏瀉心湯の有用性を明らかにするための基礎及び臨床研究	上野尚雄	歯科	618,363	補	日本学術振興会
ゲノムの詳細解析に基づく若年肺癌発生分子機序の解明	角南久仁子	臨床検査科	180,000	補	日本学術振興会
シングルセル解析を用いた乳癌の腫瘍内不均一性の機序解明と新規治療戦略に関する研究	椎野翔	乳腺外科	2,212,255	補	日本学術振興会
ハイドロゲルによるがん幹細胞誘導システムによる悪性中皮腫の幹細胞マーカーの同定	杉野弘和	病理診断科	1,544,127	補	日本学術振興会
プロテオゲノミクスを用いた悪性骨軟部腫瘍の新たな診断・治療標的の探索	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	5,850,000	補	日本学術振興会
ホウ素中性子捕捉療法における適正な治療効果予測法の確立	中村哲志	放射線品質管理室	338,410	補	日本学術振興会
リンチ症候群疑い子宮内膜がん症例に対するスクリーニング手法の検討	石川光也	婦人腫瘍科	2,153,216	補	日本学術振興会
リン酸化プロテオゲノミクス解析を用いたBRAF変異陽性大腸癌治療抵抗性の解明	庄司広和	消化管内科	890,000	補	日本学術振興会
悪性黒色腫におけるALDH2遺伝子多型の発症と予後に関する影響の解明	緒方大	皮膚腫瘍科	301,411	補	日本学術振興会
悪性脳腫瘍におけるAPTイメージングの有用性の確立と臨床応用	大野誠	脊髄腫瘍科	228,101	補	日本学術振興会
遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングに資する遺伝情報の把握と活用	渡辺智子	遺伝子診療部門	252,000	補	日本学術振興会
可変型マルチチャンネルアプリケーションを用いた強度変調小線源治療法の開発	千葉貴仁	放射線品質管理室	308,790	補	日本学術振興会
希少かつ予後不良な子宮体癌の発生・進展機序の解明及び治療標的の同定	吉田裕	病理診断科	438,278	補	日本学術振興会
希少がんPatient-Derived Xenograftを用いた薬剤開発	小島勇貴	乳腺・腫瘍内科	465,791	補	日本学術振興会
胸部悪性腫瘍における急性炎症および悪液質による免疫抑制機構の解析	吉田達哉	呼吸器内科	2,572,632	補	日本学術振興会
骨軟部腫瘍の病理診断に有用な免疫染色マーカーの開発	吉田朗彦	病理診断科	787,962	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委元	
骨軟部腫瘍全ゲノム解析データに基づく遺伝子異常の機能解析と治療標的の同定	平田真	遺伝子診療部門	3,380,000	補	日本学術振興会
再発甲状腺癌を用いた未分化癌転化予測因子の新規確立	大舘徹	病理診断科	1,413,240	補	日本学術振興会
子宮頸がんに対する治療標的となりうる新規ゲノムプロファイリングの同定	加藤友康	婦人腫瘍科	1,688,095	補	日本学術振興会
若年発症肺腺がんにおける遺伝的要因の同定	張萌琳	遺伝子診療部門	742,259	補	日本学術振興会
十二指腸癌発生過程の分子病理学的解析	関根茂樹	病理診断科	2,362,176	補	日本学術振興会
術後せん妄発症を制御する免疫ランドスケープの解明	貞廣良一	精神腫瘍科	91,430	補	日本学術振興会
初発膠芽腫に対するメホルミンを用いた臨床試験に付随するバイオマーカー探索研究	大野誠	脊髄腫瘍科	801,150	補	日本学術振興会
食道癌に対する術前治療法による微小腫瘍免疫環境に与える影響の違いに関する研究	柏原大朗	放射線治療科	463,000	補	日本学術振興会
進行性疾患の患者と家族の食に関する苦悩への心理社会的アプローチと多職種連携ケア	天野晃滋	緩和医療科	2,660,407	補	日本学術振興会
人工知能を用いた画像解析による確実な治療選択に向けた超音波気管支鏡検査法の確立	内村圭吾	内視鏡科	3,717,188	補	日本学術振興会
生物物理放射線量一体評価型計測システムの開発と基礎検証	飯島康太郎	放射線品質管理室	2,116,823	補	日本学術振興会
造血細胞移植後晩期合併症のスクリーニング法と治療法の開発	稲本賢弘	造血幹細胞移植科	240,000	補	日本学術振興会
多層的遺伝子解析を用いた高悪性度軟部肉腫に対する個別化医療の開発	中谷文彦	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	2,340,000	補	日本学術振興会
多層的遺伝子解析を用いた高悪性度軟部肉腫に対する個別化医療の開発(繰越し)	中谷文彦	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	8,840,000	補	日本学術振興会
多層的遺伝子解析を用いた高悪性度軟部肉腫に対する個別化医療の開発(繰越し)	中谷文彦	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	1,152,834	補	日本学術振興会
頭頸部がんのクロマチンアクセシビリティ解析による薬剤応答性新規細胞亜集団の特定	森泰昌	病理診断科	1,703,134	補	日本学術振興会
頭頸部皮弁癌のゲノム解析による発癌メカニズムの解明	江口紘太郎	頭頸部外科	992,955	補	日本学術振興会
肉腫の脱分化機構に着目した新たな疾患分類の確立と治療標的開発	小林英介	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	1,160,044	補	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委元	
肉腫の分化を標的とした新規治療開発	小林英介	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	1,426,797	補	日本学術振興会
乳がんサバイバーの慢性疼痛の病態解明と治療開発	石木寛人	緩和医療科	1,169,981	補	日本学術振興会
肺がん化学放射線治療後の免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する研究	稲葉浩二	放射線治療科	576,393	補	日本学術振興会
肺癌におけるKRAS変異機能の解析	谷田部恭	病理診断科	5,330,000	補	日本学術振興会
肺癌の新規バイオマーカーMSI-High・NTRKの臨床応用性に関する探索的検討	四倉正也	呼吸器外科	2,609,974	補	日本学術振興会
微量検体プロテオゲノミクス解析による消化管原発神経内分泌癌の病態解明	平野秀和	消化管内科	3,513,799	補	日本学術振興会
放射線治療CT画像に起因する線量誤差定量化及びデュアルエネルギーCTの多施設評価	中市徹	放射線品質管理室	2,277,899	補	日本学術振興会
放射線療法に伴う味覚障害の唾液メタボローム解析による病態解明と治療への応用	八岡和歌子	歯科	573,480	補	日本学術振興会
末梢肺病変に対する気管支鏡の新たな検体採取法の確立	松元祐司	内視鏡科	930,000	補	日本学術振興会
予後不良Ewing肉腫における分子マーカーの同定および新規治療標的の探索	小倉浩一	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	390,000	補	日本学術振興会
予後不良子宮体癌に対する治療標的となる遺伝子異常の同定	加藤真弓	婦人腫瘍科	655,326	補	日本学術振興会
膵がん免疫微小環境における神経系の役割	平岡伸介	病理診断科	1,299,066	補	日本学術振興会
簇出と上皮間葉移行に注目した早期口腔癌のリンパ節転移予測	坂井利彦	頭頸部外科	315,217	補	日本学術振興会
がん患者に対する質の高いアピアランスケアの実装に資する研究	藤間勝子	アピアランス支援センター	11,000,000	補	厚生労働省
がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	里見絵理子	緩和医療科	10,010,000	補	厚生労働省
希少がんの情報提供・相談支援ネットワークの形成に関する研究	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	4,200,000	補	厚生労働省
骨髄バンクドナーの提供体制強化と若年ドナーの確保・リテンションへ向けた適切な介入方法の確立のための研究	福田隆浩	造血幹細胞移植科	8,099,000	補	厚生労働省
薬事規制の国際調和における外部ステークホルダーの関与のあり方の研究	中村健一	国際開発部門/臨床研究支援部門	5,000,000	補	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委元	
CT装置間における時間分解能の違いが頭頸部領域に与える影響	佐藤誠也	放射線技術部放射線診断技術室	50,000	補	公益社団法人日本放射線技術学会関東支部
L型アミノ酸トランスポーター1を用いたホウ素中性子捕捉療法の治療効果予測のためのバイオマーカー開発研究	柏原大朗	放射線治療科	2,000,000	補	公益財団法人武田科学振興財団
胃上皮性病変に対するプローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡の診断能に関する多施設前向き研究	高丸博之	内視鏡科	1,000,000	補	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
肝切除を受ける患者へのアウトカム志向型パスを用いた前向き観察研究-アウトカム志向型パスを用いたパンフレットの評価	稲富由真	看護部患者サポートセンターⅡ	500,000	補	公益財団法人安田記念医学財団
再発高リスク変異を有するEwing肉腫の病態解明および新規治療標的の探索	小倉浩一	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	1,000,000	補	公益財団法人がん研究振興財団
浸潤性軟部肉腫の術中における腫瘍浸潤の可視化について	戸田雄	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	2,000,000	補	公益財団法人武田科学振興財団
早期消化管癌のImage-enhanced endoscopy診断技術およびESD技術の習得。大腸早期がんのJNETを用いた内視鏡診断の国際共同研究、ESDトレーニングにおけるラーニングカーブの国際共同研究など	斎藤豊	内視鏡科	400,000	補	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
頭頸部癌放射線治療の口腔衛生管理の確立の為の口腔内細菌叢の変化に関する前向き研究	村上直也	放射線治療科	300,000	補	公益社団法人日本放射線腫瘍学会
「BDTM HDチェックシステム」を用いた病院内の抗がん剤汚染調査ならびに対応策の有用性評価	西垣玲奈	薬剤部	300,000	補	関信地区国立病院薬剤師会
がん疼痛に対するオピオイドと鎮痛補助薬漸増療法/メサドン切り替え法/メサドン上乗せ法を比較する第Ⅱ相ランダム化比較試験	松岡弘道	精神腫瘍科	3,000,000	補	特定非営利活動法人日本緩和医療学会
再発・難治神経芽腫の治癒率向上を目指した新規治療開発のための基盤構築	中島美穂	小児腫瘍科	950,000	補	認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク
小児・AYA世代がん患者の治療に伴う外見変化に対して、医療者が提供するアピアランスケアに関するインタビュー調査	藤間勝子	アピアランス支援室	350,000	補	認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク
非乳頭部十二指腸神経内分泌腫瘍に対する内視鏡治療および外科手術の短期成績・長期予後に関する多施設共同遡及的研究 (D-NET試験)	野中哲	内視鏡科	1,000,000	補	日本消化管学会

計102件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補の交付又は委を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委元」欄は、補助の場合は「補」に、委の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ohno, M/Kitano, S/Satomi, K/他	脳脊髄腫瘍科	Assessment of radiographic and prognostic characteristics of programmed death-ligand 1 expression in high-grade gliomas.	Journal of neuro-oncology・2022年160巻2号463-472ページ	Original Article
2	Ohno, M/Miyakita, Y/Takahashi, M/他	脳脊髄腫瘍科	Assessment of therapeutic outcome and role of reirradiation in patients with radiation-induced glioma.	Radiation oncology (London, England)・2022年17巻1号85ページ	Original Article
3	Omura, T/Takahashi, M/Ohno, M/他	脳脊髄腫瘍科	Clinical Application of Comprehensive Genomic Profiling Tests for Diffuse Gliomas.	Cancers・2022年14巻10号2454ページ	Original Article
4	Hosoya, T/Yonezawa, H/Matsuoka, A/他	脳脊髄腫瘍科	Combination of asleep and awake craniotomy as a novel strategy for resection in patients with butterfly glioblastoma: Two case reports.	Surgical neurology international・2022年13巻492ページ	Original Article
5	Ohno, M/Miyakita, Y/Takahashi, M/他	脳脊髄腫瘍科	Continuing maintenance temozolomide therapy beyond 12 cycles confers no clinical benefit over discontinuation at 12 cycles in patients with IDH1/2-wildtype glioblastoma.	Japanese journal of clinical oncology・2022年52巻10号1134-1142ページ	Original Article
6	Kawauchi, D/Ohno, M/Miyakita, Y/他	脳脊髄腫瘍科	Early Diagnosis and Surgical Intervention Within 3 Weeks From Symptom Onset Are Associated With Prolonged Survival of Patients With Glioblastoma.	Neurosurgery・2022年91巻5号741-748ページ	Original Article
7	Narita, Y/Okita, Y/Arakawa, Y	脳脊髄腫瘍科	Evaluation of the efficacy and safety of TAS0313 in adults with recurrent glioblastoma.	Cancer immunology, immunotherapy・2022年71巻11号2703-2715ページ	Original Article
8	Ohno, M/Kitanaka, C/Miyakita, Y/他	脳脊髄腫瘍科	Metformin with Temozolomide for Newly Diagnosed Glioblastoma: Results of Phase I Study and a Brief Review of Relevant Studies.	Cancers・2022年14巻17号4222ページ	Original Article
9	Hosoya, T/Takahashi, M/Honda-Kitahara, M/他	脳脊髄腫瘍科	MGMT gene promoter methylation by pyrosequencing method correlates volumetric response and neurological status in IDH wild-type glioblastomas.	Journal of neuro-oncology・2022年157巻3号561-571ページ	Original Article
10	Kawauchi, D/Ohno, M/Honda-Kitahara, M/他	脳脊髄腫瘍科	The clinical characteristics and outcomes of incidentally discovered glioblastoma.	Journal of neuro-oncology・2022年156巻3号551-557ページ	Original Article
11	Hosoya, T/Takahashi, M/Davey, C/他	脳脊髄腫瘍科	Volumetric Analysis of Glioblastoma for Determining Which CpG Sites Should Be Tested by Pyrosequencing to Predict Temozolomide Efficacy.	Biomolecules・2022年12巻10号1379ページ	Case report
12	Eguchi, K/Omura, G/Shimoi, T/他	頭頸部外科	BCOR-CCNB3 sarcoma arising in the pharynx.	Auris, nasus, larynx・2023年50巻4号618-622ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
13	Omura, G/Yoshimoto, S/Rikitake, R/他	頭頸部外科	Comparison of survival outcomes between adolescent and young adults and older adults with tongue squamous cell carcinoma: a nationwide database study using the head and neck cancer registry of Japan.	International journal of clinical oncology・2023年28巻2号221-228ページ	Original Article
14	Omura, G/Honma, Y/Matsumoto, Y/ 他	頭頸部外科	Transnasal photoimmunotherapy with cetuximab sarotalocan sodium: Outcomes on the local recurrence of nasopharyngeal squamous cell carcinoma.	Auris, nasus, larynx・2023年50巻4号641-645ページ	Original Article
15	Arikawa, M/Akazawa, S/Kagaya, Y/他	形成外科	Free Flap Reconstruction of Oncologic Gluteal Defects.	Annals of plastic surgery・2022年88巻4号420-424ページ	Original Article
16	Arikawa, M/Akazawa, S/Kageyama, D/ 他	形成外科	Soft Tissue Reconstruction Using the Free Forearm Fillet Flap in the Salvage of Forequarter Amputations for Recurrent Sarcoma: A Report of 2 Cases.	Annals of plastic surgery・2023年90巻4号334-338ページ	Case report
17	Kurita, A/Yoshida, M/Murata, T/他	乳腺外科	A case of ALK-positive histiocytosis with multiple lesions in the unilateral breast: A case report.	International journal of surgery case reports・2022年97巻107435ページ	Original Article
18	Murata, T/Yoshida, M/Shiino, S/他	乳腺外科	A prediction model for distant metastasis after isolated locoregional recurrence of breast cancer.	Breast cancer research and treatment・2023年199巻1号57-66ページ	Original Article
19	Jimbo, K/Nakadaira, U/Watase, C/他	乳腺外科	Clinical significance of discordances in sentinel lymph node reactivity between radioisotope and indocyanine green fluorescence in patients with cN0 breast cancer.	Asian journal of surgery・2023年46巻1号277-282ページ	Original Article
20	Maseki, H/Jimbo, K/Watase, C/他	乳腺外科	Clinical significance of tumor cell seeding associated with needle biopsy in patients with breast cancer.	Asian journal of surgery・2023年S1015-9584(23)00081-7ページ	Original Article
21	Murata, T/Watase, C/Shiino, S/他	乳腺外科	Development and validation of a pre- and intra-operative scoring system that distinguishes between non-advanced and advanced axillary lymph node metastasis in breast cancer with positive sentinel lymph nodes: a retrospective study.	World journal of surgical oncology・2022年20巻1号314ページ	Original Article
22	Ogawa, A/Nakagawa, T/Kumaki, Y/他	乳腺外科	Spontaneous regression of breast lymphoproliferative disorders after withdrawal of methotrexate in rheumatoid arthritis patients with Epstein-Barr virus infection: a case report and review of the literature.	Journal of medical case reports・2022年16巻1号49ページ	Original Article
23	Shiino, S/Quinn, C/Ball, G/他	乳腺外科	Prognostic significance of microinvasion with ductal carcinoma in situ of the breast: a meta-analysis.	Breast cancer research and treatment・2023年197巻2号245-254ページ	Review
24	Chiba, Y/Sudo, K/Kojima, Y/他	腫瘍内科	A multicenter investigator-initiated Phase 2 trial of E7090 in patients with advanced or recurrent solid tumor with fibroblast growth factor receptor (FGFR) gene alteration: FORTUNE trial.	BMC cancer・2022年22巻1号869ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
25	Kojima, Y/Sudo, K/Yoshida, H/他	腫瘍内科	Changes in HER3 expression profiles between primary and recurrent gynecological cancers.	Cancer cell international・2023年23巻1号18ページ	Original Article
26	Sanomachi, T/Sumiyoshi, Okuma, H/Yonemori, K	腫瘍内科	COVID arm that appeared in the contralateral upper extremity after mRNA-1273 booster inoculation.	International cancer conference journal・2023年12巻3号216-219ページ	Original Article
27	Yazaki, S/Kojima, Y/Yoshida, H/他	腫瘍内科	High expression of folate receptor alpha is associated with poor prognosis in patients with cervical cancer.	Journal of gynecologic oncology・2022年33巻6号e82ページ	Original Article
28	Yazaki, S/Salgado, R/Shimoi, T/他	腫瘍内科	Impact of adjuvant chemotherapy and radiotherapy on tumour-infiltrating lymphocytes and PD-L1 expression in metastatic breast cancer.	British journal of cancer・2023年128巻4号568-575ページ	Original Article
29	Yazaki, S/Shimoi, T/Yoshida, M/他	腫瘍内科	Integrative prognostic analysis of tumor-infiltrating lymphocytes, CD8, CD20, programmed cell death-ligand 1, and tertiary lymphoid structures in patients with early-stage triple-negative breast cancer who did not receive adjuvant chemotherapy.	Breast cancer research and treatment・2023年197巻2号287-297ページ	Original Article
30	Yonemori, K/Yunokawa, M/Ushijima, K/他	腫瘍内科	Lenvatinib plus pembrolizumab in Japanese patients with endometrial cancer: Results from Study 309/KEYNOTE-775.	Cancer science・2022年113巻10号3489-3497ページ	Original Article
31	Sanomachi, T/Okuma, HS/Kitadai, R/他	腫瘍内科	Low HER2 expression is a predictor of poor prognosis in stage I triple-negative breast cancer.	Frontiers in oncology・2023年13巻1157789ページ	Original Article
32	Okuma, HS/Yoshida, H/Kobayashi, Y/他	腫瘍内科	Molecular pathology quality control in Southeast Asia: Results of a multiregional quality assurance study from MASTER KEY Asia.	Cancer science・2023年114巻6号2664-2673ページ	Original Article
33	Kojima, Y/Shimoi, T/Seo, T/他	腫瘍内科	Poor Treatment Outcomes with Second-Line Chemotherapy in Advanced Synovial Sarcoma.	Oncology・2022年100巻7号370-375ページ	Original Article
34	Nishikawa, T/Hasegawa, K/Matsumoto, K/他	腫瘍内科	Trastuzumab Deruxtecan for Human Epidermal Growth Factor Receptor 2-Expressing Advanced or Recurrent Uterine Carcinosarcoma (NCCH1615): The STATICE Trial.	Journal of clinical oncology・2023年41巻15号2789-2799ページ	Original Article
35	Kitadai, R/Okuma, Y	腫瘍内科	Treatment Strategies for Non-Small Cell Lung Cancer Harboring Common and Uncommon EGFR Mutations: Drug Sensitivity Based on Exon Classification, and Structure-Function Analysis.	Cancers・2022年14巻10号2519ページ	Original Article
36	Saito, A/Tanioka, M/Hirata, M/他	腫瘍内科	Case report: Response to platinum agents and poly (adenosine diphosphate-ribose) polymerase inhibitor in a patient with BRCA1 c.5096G>A (R1699Q) intermediate-risk variant.	Cancer treatment and research communications・2022年32巻100587ページ	Case report
37	Inoue, M/Yotsukura, M/Yoshida, Y/他	呼吸器外科	A case of cardiac herniation after right pneumonectomy.	Asian cardiovascular & thoracic annals・2022年30巻6号737-740ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
38	Takemura, C/Kashima, J/Hashimoto, T/他	呼吸器外科	A mimic of lung adenocarcinoma: a case report of histological conversion of metastatic thyroid papillary carcinoma.	Histopathology・2022年80巻6号1004-1007ページ	Original Article
39	Yotsukura, M/Nakagawa, K/Takemura, C/他	呼吸器外科	Aggressive histological component in subsolid lung adenocarcinoma: priority for resection without delay.	Japanese journal of clinical oncology・2022年52巻11号1321-1326ページ	Original Article
40	Yotsukura, M/Muraoka, Y/Yoshida, Y/他	呼吸器外科	ASO Visual Abstract: Long-Term Prognosis and Prognostic Indicators of Stage IA Lung Adenocarcinoma.	Annals of surgical oncology・2023年30巻2号859-860ページ	Original Article
41	Kawakubo, N/Okubo, Y/Yotsukura, M/他	呼吸器外科	Assessment of Resectability of Mediastinal Germ Cell Tumor Using Preoperative Computed Tomography.	The Journal of surgical research・2022年272巻61-68ページ	Original Article
42	Fujikawa, R/Muraoka, Y/Kashima, J/他	呼吸器外科	Clinicopathologic and Genotypic Features of Lung Adenocarcinoma Characterized by the International Association for the Study of Lung Cancer Grading System.	Journal of thoracic oncology・2022年17巻5号700-707ページ	Original Article
43	Higashiyama, M/Motoi, N/Yotsukura, M/他	呼吸器外科	Clinicopathological characteristics and molecular analysis of lung cancer associated with ciliated muconodular papillary tumor/bronchiolar adenoma.	Pathology international・2023年73巻5号188-197ページ	Original Article
44	Akamine, T/Yotsukura, M/Yoshida, Y/他	呼吸器外科	Feasibility and effectiveness of segmentectomy versus wedge resection for clinical stage I non-small-cell lung cancer.	European journal of cardio-thoracic surgery・2023年63巻3号ezad018ページ	Original Article
45	Higashiyama, M/Kobayashi, Y/Kashima, J/他	呼吸器外科	Invasive Mucinous Adenocarcinoma of the Lung With a Mural Nodule-like Lesion.	The American journal of surgical pathology・2022年46巻11号1524-1532ページ	Original Article
46	Yotsukura, M/Muraoka, Y/Yoshida, Y/他	呼吸器外科	Long-Term Prognosis and Prognostic Indicators of Stage IA Lung Adenocarcinoma.	Annals of surgical oncology・2023年30巻2号851-858ページ	Original Article
47	Muraoka, Y/Yoshida, Y/Nakagawa, K/他	呼吸器外科	Maximum standardized uptake value of the primary tumor does not improve candidate selection for sublobar resection.	The Journal of thoracic and cardiovascular surgery・2022年163巻5号1656-1665.e3ページ	Original Article
48	Kobayashi, AK/Nakagawa, K/Nakayama, Y/他	呼吸器外科	Salvage Surgery Compared to Surgery After Induction Chemoradiation Therapy for Advanced Lung Cancer.	The Annals of thoracic surgery・2022年114巻6号2087-2092ページ	Original Article
49	Yoshida, Y/Saeki, N/Yotsukura, M/他	呼吸器外科	Visualization of patterns of lymph node metastases in non-small cell lung cancer using network analysis.	JTCVS open・2022年12巻410-425ページ	Original Article
50	Ishiguro, Y/Uchimura, K/Furuse, H/他	呼吸器外科	Esophageal submucosal tumor diagnosed with EBUS-guided transbronchial mediastinal cryobiopsy: A case report.	Thoracic cancer・2022年13巻21号3068-3072ページ	Case report
51	Takemura, C/Imabayashi, T/Furuse, H/他	呼吸器外科	Thoracic SMARCA4-deficient undifferentiated tumor diagnosed by transbronchial mediastinal cryobiopsy: A case report.	Thoracic cancer・2023年14巻10号953-957ページ	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
52	Nakagawa, K	呼吸器外科	Minimally invasive sleeve lobectomy: it is important to pass excellent techniques to the next generation.	Journal of thoracic disease・2023年15巻3号 946-949ページ	Others
53	Jo, H/Yoshida, T/Yagishita, S/他	呼吸器内科	Clinical Characteristics and Pharmacokinetics Change of Long-Term Responders to Antiprogrammed Cell Death Protein 1 Inhibitor Among Patients With Advanced NSCLC.	JTO clinical and research reports・2023年4巻4号 100474ページ	Original Article
54	Shimoda, Y/Shibaki, R/Yoshida, T/他	呼吸器内科	Concurrent High PD-L1 Expression and CD8(+) Immune Cell Infiltration Predict PD-1 Blockade Efficacy in Advanced EGFR-Mutant NSCLC Patients.	Clinical lung cancer・2022年23巻6号477-486ページ	Original Article
55	Nishimura, R/Yoshida, T/Torasawa, M/他	呼吸器内科	Co-occurring KEAP1 and TP53 mutations in lung squamous cell carcinoma induced primary resistance to thoracic radiotherapy: A case report.	Thoracic cancer・2023年14巻2号206-209ページ	Original Article
56	Masuda, K/Ishiki, H/Yokomichi, N/他	呼吸器内科	Effect of paracentesis on the survival of patients with terminal cancer and ascites: a propensity score-weighted analysis of the East Asian Collaborative Cross-cultural Study to Elucidate the Dying Process.	Supportive care in cancer・2022年30巻7号6233-6241 ページ	Original Article
57	Shinno, Y/Yoshida, A/Masuda, K/他	呼吸器内科	Efficacy of Immune Checkpoint Inhibitors in SMARCA4-Deficient Thoracic Tumor.	Clinical lung cancer・2022年23巻5号386-392ページ	Original Article
58	Nakamura, T/Takeyasu, Y/Yoshida, T/他	呼吸器内科	End-of-life impact of concurrent diabetes mellitus and adrenal insufficiency as immune-related adverse events in an advanced non-small cell lung cancer patient.	Thoracic cancer・2022年13巻21号3073-3075ページ	Original Article
59	Konno-Yamamoto, A/Matsumoto, Y/Imabayashi, T/他	呼吸器内科	Feasibility of Modified Endobronchial Ultrasound-Guided Intranodal Forceps Biopsy: A Retrospective Analysis.	Respiration; international review of thoracic diseases・2023年102巻2号 143-153ページ	Original Article
60	Goto, Y/Tamura, A/Matsumoto, H/他	呼吸器内科	First-Line Pembrolizumab Monotherapy for Advanced NSCLC With Programmed Death-Ligand 1 Expression Greater Than or Equal to 50%: Real-World Study Including Older Patients in Japan.	JTO clinical and research reports・2022年3巻9号 100397ページ	Original Article
61	Satoh, H/Arai, Y/Furukawa, E/他	呼吸器内科	Genomic landscape of chemical-induced lung tumors under Nrf2 different expression levels.	Carcinogenesis・2022年43巻7号613-623ページ	Original Article
62	Baba, K/Goto, Y	呼吸器内科	Lorlatinib as a treatment for ALK-positive lung cancer.	Future oncology (London, England)・2022年18巻24号 2745-2766ページ	Original Article
63	Takeyasu, Y/Yoshida, T/Masuda, K/他	呼吸器内科	Lorlatinib Versus Pemetrexed-Based Chemotherapy in Patients With ALK-rearranged NSCLC Previously Treated With Alectinib.	JTO clinical and research reports・2022年3巻5号 100311ページ	Original Article
64	Horinouchi, H/Kusumoto, M/Yatabe, Y/他	呼吸器内科	Lung Cancer in Japan.	Journal of thoracic oncology・2022年17巻3号 353-361ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
65	Torasawa, M/Yoshida, T/Yagishita, S/他	呼吸器内科	Nivolumab versus pembrolizumab in previously-treated advanced non-small cell lung cancer patients: A propensity-matched real-world analysis.	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)・2022年167巻49-57ページ	Original Article
66	Noda-Narita, S/Naito, T/Udagawa, H/他	呼吸器内科	Nivolumab-induced radiation recall pneumonitis in non-small-cell lung cancer patients with thoracic radiation therapy.	Cancer science・2023年114巻2号630-639ページ	Original Article
67	Higashiyama, RI/Horinouchi, H/Kuchiba, A/他	呼吸器内科	Non-specific symptoms as a prodrome of immune-related adverse events in patients with non-small cell lung cancer receiving nivolumab: a consecutive analysis of 200 patients.	Journal of cancer research and clinical oncology・2022年	Original Article
68	Goto, Y/Yoh, K/Kato, T/他	呼吸器内科	Observational study to predict the efficacy and optimal duration of nivolumab treatment in patients with previously treated advanced or recurrent non-small cell lung cancer.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻2号153-160ページ	Original Article
69	Tateishi, AT/Okuma, Y	呼吸器内科	Onco-biome in pharmacotherapy for lung cancer: a narrative review.	Translational lung cancer research・2022年11巻11号2332-2345ページ	Original Article
70	Tanaka, T/Yoshida, T/Masuda, K/他	呼吸器内科	Prognostic role of modified Glasgow Prognostic score in elderly non-small cell lung cancer patients treated with anti-PD-1 antibodies.	Respiratory investigation・2023年61巻1号74-81ページ	Original Article
71	So, C/Yoshida, T/Mizuno, T/他	呼吸器内科	Rapidly progressing metastatic malignant melanoma mimicking primary pleural tumor: A case report.	Thoracic cancer・2022年13巻9号1423-1426ページ	Original Article
72	Fukuda, A/Yoshida, T/Yagishita, S/他	呼吸器内科	Real-world Data on the Incidence of Coronavirus Disease (COVID-19) in Patients With Advanced Thoracic Cancer During the Early Phase of the Pandemic in Japan.	Anticancer research・2023年43巻2号919-926ページ	Original Article
73	Goto, Y/Shukuya, T/Murata, A/他	呼吸器内科	Real-world therapeutic effectiveness of lorlatinib after alectinib in Japanese patients with ALK-positive non-small-cell lung cancer.	Cancer science・2023年114巻6号2560-2568ページ	Original Article
74	Ohe, Y/Yamazaki, N/Yamamoto, N/他	呼吸器内科	The real-world safety of atezolizumab as second-line or later treatment in Japanese patients with non-small-cell lung cancer: a post-marketing surveillance study.	Japanese journal of clinical oncology・2022年52巻6号623-632ページ	Original Article
75	Muto, Y/Okuma, Y	呼吸器内科	Therapeutic options in thymomas and thymic carcinomas.	Expert review of anticancer therapy・2022年22巻4号401-413ページ	Original Article
76	Fujii, H/Okuma, Y	呼吸器内科	Unarranged territory in uncommon EGFR mutations.	Translational lung cancer research・2022年11巻7号1233-1236ページ	Original Article
77	Higashiyama, RI/Yoshida, T/Yagishita, S/他	呼吸器内科	In Response: Letter Received From Dr. Charles Ricordel Titled Safety of Extended-Interval Dosing Strategy of Immune Checkpoint Inhibitors for Advanced NSCLC”.	Journal of thoracic oncology・2023年18巻2号e16-e17ページ	Letter
78	Oguma, J/Ozawa, S/Ishiyama, K/他	食道外科	Clinical significance of sarcopenic dysphagia for patients with esophageal cancer undergoing esophagectomy: A review.	Annals of gastroenterological surgery・2022年6巻6号738-745ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
79	Kubo, K/Oguma, J/Utsunomiya, D/他	食道外科	Clinicopathological Features of Early-Stage Esophageal Carcinosarcoma.	Case reports in gastroenterology・2022年16巻3号569-576ページ	Original Article
80	Kurita, D/Utsunomiya, D/Kubo, K/他	食道外科	Handgrip strength predicts early postoperative dysphagia after thoracoscopic-laparoscopic esophagectomy in male patients with esophageal cancer.	Esophagus・2022年19巻4号586-595ページ	Original Article
81	Oguma, J/Ishiyama, K/Kurita, D/他	食道外科	Novel pathological staging for patients with locally advanced esophageal squamous cell carcinoma undergoing neoadjuvant chemotherapy followed by surgery.	Esophagus・2022年19巻2号214-223ページ	Original Article
82	Oguma, J/Ishiyama, K/Kurita, D/他	食道外科	Oncologic significance of lymphovascular invasion in patients with superficial esophageal squamous cell carcinoma reaching the muscularis mucosae or with slight invasion of the submucosa.	Surgery・2023年173巻5号1162-1168ページ	Original Article
83	Kurita, D/Sakurai, T/Utsunomiya, D/他	食道外科	Predictive Ability of the Five-time Chair Stand Test for Postoperative Pneumonia after Minimally Invasive Esophagectomy for Esophageal Cancer.	Annals of surgical oncology・2022年29巻12号7462-7470ページ	Original Article
84	Kanematsu, K/Kudose, Y/Utsunomiya, D/他	食道外科	Surveillance Strategy after Curative Resection for Oesophageal Squamous Cell Cancer Using the Hazard Function.	BMC cancer・2022年22巻1号1245ページ	Original Article
85	Ishiyama, K/Oguma, J/Kubo, K/他	食道外科	Does Preoperative Corticosteroid Administration Improve the Short-Term Outcome of Minimally Invasive Esophagectomy for Esophageal Cancer? A Propensity Score-Matched Analysis.	Annals of surgical oncology・2022年29巻11号6886-6893ページ	Case report
86	Yamagata, Y/Yoshikawa, T/Ishizu, K/他	胃外科	Impact of D2 Gastrectomy for Locally Advanced Gastric Cancer in the Era of Effective Adjuvant Chemotherapy.	World journal of surgery・2023年47巻6号1512-1518ページ	Original Article
87	Kamiya, A/Hayashi, T/Sakon, R/他	胃外科	Long-term postoperative pneumonia in elderly patients with early gastric cancer.	BMC surgery・2022年22巻1号220ページ	Original Article
88	Kamiya, A/Yoshikawa, T/Sakon, R/他	胃外科	Optimal surgery and lymph node metastasis of duodenal bulbar neuroendocrine neoplasms.	European journal of surgical oncology・2022年48巻3号597-603ページ	Original Article
89	Nishino, M/Yoshikawa, T/Yura, M/他	胃外科	Possible candidates for splenic hilar nodal dissection among patients with upper advanced gastric cancer without invasion of the greater curvature.	Gastric cancer・2023年26巻3号460-466ページ	Original Article
90	Kamiya, A/Hayashi, T/Sakon, R/他	胃外科	Prognostic Impact of Long-term Postoperative Pneumonia in Elderly Patients with Early Gastric Cancer.	Journal of Cancer・2022年13巻9号2905-2911ページ	Original Article
91	Hayashi, T/Yoshikawa, T/Ishizu, K/他	胃外科	Suprapancreatic nodal dissection should not be uniformly selected in additional gastrectomy for the patients who diagnosed as pT1b gastric cancer by endoscopic resection.	European journal of surgical oncology・2022年48巻8号1785-1789ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
92	Hayashi, T/Yoshikawa, T	胃外科	Optimal surgery for esophagogastric junctional cancer.	Langenbeck's archives of surgery・2022年407巻4号 1399-1407ページ	Review
93	Hayashi, T/Yoshikawa, T	胃外科	Reply to: Letter to the Editor Suprapancreatic nodal dissection should not be uniformly selected in additional gastrectomy for the patients diagnosed as pT1b gastric cancer by endoscopic resection”.	European journal of surgical oncology・2022年48巻8号1867-1868ページ	Letter
94	Tsukamoto, S/Honma, Y/Shoji, H/他	大腸外科	Clinical outcomes of surgical and imatinib treatment for rectal gastrointestinal stromal tumours: retrospective cohort study.	BJS open・2022年6巻3号 zrac067ページ	Original Article
95	Kudose, Y/Shida, D/Ahiko, Y/他	大腸外科	Evaluation of Recurrence Risk After Curative Resection for Patients With Stage I to III Colorectal Cancer Using the Hazard Function: Retrospective Analysis of a Single-institution Large Cohort.	Annals of surgery・2022年275巻4号727-734ページ	Original Article
96	Sugishita, T/Tsukamoto, S/Imaizumi, J/他	大腸外科	Evaluation of the learning curve for robot-assisted rectal surgery using the cumulative sum method.	Surgical endoscopy・2022年36巻8号5947-5955ページ	Original Article
97	Takayama, Y/Moritani, K/Ito, S/他	大腸外科	Laparoscopic resection of a solitary fibrous tumor in the mesentery of the small intestine: a case report.	Clinical journal of gastroenterology・2022年15巻5号895-900ページ	Original Article
98	Takamizawa, Y/Inoue, M/Moritani, K/他	大腸外科	Prognostic impact of conversion hepatectomy for initially unresectable colorectal liver metastasis.	Langenbeck's archives of surgery・2022年407巻7号 2893-2903ページ	Original Article
99	Seki, K/Sakamoto, T/Makiguchi, ME/他	大腸外科	Unexpected adhesive bowel obstruction after endoscopic submucosal dissection of early sigmoid colon cancer.	DEN open・2023年3巻1号 e194ページ	Original Article
100	Inoue, M/Tsukamoto, S/Moritani, K/他	大腸外科	A metastatic G2 neuroendocrine tumor smaller than 5 mm: A case report.	International journal of surgery case reports・2022年94巻107037ページ	Case report
101	Kato, K/Doki, Y/Ogata, T/他	消化管内科	First-line nivolumab plus ipilimumab or chemotherapy versus chemotherapy alone in advanced esophageal squamous cell carcinoma: a Japanese subgroup analysis of open-label, phase 3 trial (CheckMate 648/ONO-4538-50).	Esophagus・2023年20巻2号291-301ページ	Original Article
102	Oshima, K/Hirano, H/Shoji, H/他	消化管内科	Influence of precedent drug on the subsequent therapy in the sequence of trifluridine/tipiracil with/out bevacizumab and regorafenib for unresectable or recurrent colorectal cancer.	PloS one・2022年17巻6号 e0269115ページ	Original Article
103	Ito, T/Takashima, A/Yamazaki, K/ 他	消化管内科	Primary tumor location as a predictor of survival in patients with RAS wild-type colorectal cancer who receive molecularly targeted drugs as first-line therapy: a multicenter real-world observational study by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.	International journal of clinical oncology・2022年27巻9号1450-1458ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
104	Oshima, K/Kato, K/Ito, Y/他	消化管内科	Prognostic biomarker study in patients with clinical stage I esophageal squamous cell carcinoma: JCOG0502-A1.	Cancer science・2022年113巻3号1018-1027ページ	Original Article
105	Kadono, T/Yamamoto, S/Hirose, T/他	消化管内科	Safety and short-term efficacy of preoperative FOLFOX therapy in patients with resectable esophageal squamous cell carcinoma who are ineligible for cisplatin.	Esophagus・2023年20巻1号109-115ページ	Original Article
106	Hirano, H/Abe, Y/Nojima, Y/他	消化管内科	Temporal dynamics from phosphoproteomics using endoscopic biopsy specimens provides new therapeutic targets in stage IV gastric cancer.	Scientific reports・2022年12巻1号4419ページ	Original Article
107	Yamamoto, S/Sakakibara, N/Hirano, H/他	消化管内科	The real-world selection of first-line systemic therapy regimen for metastatic gastroenteropancreatic neuroendocrine neoplasm in Japan.	Scientific reports・2022年12巻1号17601ページ	Original Article
108	Kato, K/Kadota, T/Abe, S	消化管内科	Reply.	Gastroenterology・2022年162巻7号2130-2131ページ	Letter
109	Ito, T/Matsumoto, Y/Okachi, S/他	内視鏡科	A Diagnostic Predictive Model of Bronchoscopy with Radial Endobronchial Ultrasound for Peripheral Pulmonary Lesions.	Respiration; international review of thoracic diseases・2022年101巻12号1148-1156ページ	Original Article
110	Tsuchida, T/Matsumoto, Y/Imabayashi, T/他	内視鏡科	A study of laser dose in photodynamic therapy with talaporfin sodium for malignant central airway stenosis.	Photodiagnosis and photodynamic therapy・2023年41巻103315ページ	Original Article
111	Muto, Y/Uchimura, K/Imabayashi, T/他	内視鏡科	Clinical Utility of Rapid On-Site Evaluation of Touch Imprint Cytology during Cryobiopsy for Peripheral Pulmonary Lesions.	Cancers・2022年14巻18号4493ページ	Original Article
112	Takamaru, H/Saito, Y/Hammoud, GM/他	内視鏡科	Comparison of postpolypectomy bleeding events between cold snare polypectomy and hot snare polypectomy for small colorectal lesions: a large-scale propensity score-matched analysis.	Gastrointestinal endoscopy・2022年95巻5号982-989.e6ページ	Original Article
113	Imabayashi, T/Matsumoto, Y/Uchimura, K/他	内視鏡科	Computed Tomography Bronchus Sign Subclassification during Radial Endobronchial Ultrasound-Guided Transbronchial Biopsy: A Retrospective Analysis.	Diagnostics (Basel, Switzerland)・2023年13巻6号1064ページ	Original Article
114	Furuse, H/Matsumoto, Y/Nakai, T/他	内視鏡科	Diagnostic efficacy of cryobiopsy for peripheral pulmonary lesions: A propensity score analysis.	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)・2023年178巻220-228ページ	Original Article
115	Tanaka, M/Matsumoto, Y/Imabayashi, T/他	内視鏡科	Diagnostic value of a new cryoprobe for peripheral pulmonary lesions: a prospective study.	BMC pulmonary medicine・2022年22巻1号226ページ	Original Article
116	Takada, K/Imabayashi, T/Matsumoto, Y/他	内視鏡科	Feasibility of the modified balloon occlusion method using a 6-Fr balloon catheter in transbronchial lung cryobiopsy.	Respiratory investigation・2022年60巻3号425-429ページ	Original Article
117	Suzuki, H/Ono, H/Hirasawa, T/他	内視鏡科	Long-term Survival After Endoscopic Resection For Gastric Cancer: Real-world Evidence From a Multicenter Prospective Cohort.	Clinical gastroenterology and hepatology・2023年21巻2号307-318.e2ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
118	Sakamoto, T/Nakashima, H/Nakamura, K/ 他	内視鏡科	Performance of Computer-Aided Detection and Diagnosis of Colorectal Polyps Compares to That of Experienced Endoscopists.	Digestive diseases and sciences・2022年67巻8号 3976-3983ページ	Original Article
119	Tsuchida, T/Matsumoto, Y/Imabayashi, T/ 他	内視鏡科	Photodynamic therapy can be safely performed with Talaporfin sodium as a day treatment for central-type early-stage lung cancer.	Photodiagnosis and photodynamic therapy・2022年38巻102836ページ	Original Article
120	Morishita, M/Uchimura, K/Furuse, H/他	内視鏡科	Predicting Malignant Lymph Nodes Using a Novel Scoring System Based on Multi-Endobronchial Ultrasound Features.	Cancers・2022年14巻21号 5355ページ	Original Article
121	Yamada, M/Shino, R/Kondo, H/他	内視鏡科	Robust automated prediction of the revised Vienna Classification in colonoscopy using deep learning: development and initial external validation.	Journal of gastroenterology・2022年57巻11号879-889ページ	Original Article
122	Abe, S/Yamazaki, T/Hisada, IT/他	内視鏡科	Visibility of early gastric cancer in texture and color enhancement imaging.	DEN open・2022年2巻1号 e46ページ	Original Article
123	Uchimura, K/Furuse, H/Imabayashi, T/ 他	内視鏡科	Airway stenosis complicated by endobronchial ultrasound-guided tissue acquisition: A case report.	Thoracic cancer・2022年13巻18号2659-2663ページ	Case report
124	Kasuga, K/Oda, I/Nonaka, S/他	内視鏡科	Endoscopic complete closure of duodenal mucosal defects using a clip with a looped thread after endoscopic resection.	Endoscopy・2022年54巻4号E135-E136ページ	Case report
125	Kasuga, K/Abe, S/Oda, I/他	内視鏡科	Guidewire-assisted technique for gastroscope insertion through stricture of Zenker's diverticulum for esophageal endoscopic submucosal dissection.	Endoscopy・2022年54巻6号E279-E280ページ	Case report
126	Uchimura, K/Imabayashi, T/Matsumoto, Y/ 他	内視鏡科	Kimura's Disease Diagnosed with Pleural Tumor.	Internal medicine (Tokyo, Japan)・2023年62巻5号 805-806ページ	Case report
127	Tamura, K/Uchimura, K/Furuse, H/他	内視鏡科	Mucoepidermoid carcinoma cured by a combination of high-frequency snare and photodynamic therapy: A case report.	Thoracic cancer・2023年14巻14号1306-1310ページ	Case report
128	Kasuga, K/Saito, Y/Takamaru, H/ 他	内視鏡科	Optical real-time biopsy by endocytoscopy: a case of sessile serrated lesion with dysplasia.	Endoscopy・2022年54巻5号E249-E251ページ	Case report
129	Takamaru, H/Saito, Y/Toyoshima, N/ 他	内視鏡科	Polyglycolic acid sheet with clipping for closing delayed perforation after colonic endoscopic submucosal dissection.	Endoscopy・2023年55巻S01号E211-E213ページ	Case report
130	Ma, X/Kawashima, K/Saito, Y	内視鏡科	Using the string-clip method to retrieve the resected specimen allowed a clear observation of the colon and detection of a new lesion.	Digestive endoscopy・2022年34巻4号e77-e78ページ	Case report
131	Saito, Y/Ono, A/García, VAJ/ 他	内視鏡科	Diagnosis and treatment of colorectal tumors: Differences between Japan and the West and future prospects.	DEN open・2022年2巻1号 e66ページ	Review

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
132	Abe, S/Makiguchi, ME/Nonaka, S/他	内視鏡科	Emerging texture and color enhancement imaging in early gastric cancer.	Digestive endoscopy・2022年34巻4号714-720ページ	Review
133	Abe, S/Hirai, Y/Uozumi, T/他	内視鏡科	Endoscopic resection of esophageal squamous cell carcinoma: Current indications and treatment outcomes.	DEN open・2022年2巻1号e45ページ	Review
134	Hirai, Y/Abe, S/Makiguchi, ME/他	内視鏡科	Endoscopic Resection of Undifferentiated Early Gastric Cancer.	Journal of gastric cancer・2023年23巻1号146-158ページ	Review
135	Saito, Y/Yamada, M/Mori, Y	内視鏡科	Although depth prediction of colorectal cancer with artificial intelligence is clinically relevant, standardization of histopathologic diagnosis should also be taken care of.	Gastrointestinal endoscopy・2022年95巻6号1195-1197ページ	Others
136	Abe, S/Tomizawa, Y/Saito, Y	内視鏡科	Can artificial intelligence be your angel to diagnose early gastric cancer in real clinical practice?.	Gastrointestinal endoscopy・2022年95巻4号679-681ページ	Others
137	Toyoshima, N/Abe, S/Saito, Y	内視鏡科	In addition to free deep margins, R0 resection should be required for T1 colorectal cancers to inform further surgical resection.	Endoscopy international open・2022年10巻4号E291-E292ページ	Others
138	Abe, S/Sekiguchi, M	内視鏡科	It is time to tailor endoscopic resection for early gastric cancer: Evaluate not only lesion but also patient.	Digestive endoscopy・2022年34巻4号826-827ページ	Others
139	Saito, Y	内視鏡科	Pathologic sm2 carries a moderate risk of metastases even without other unfavorable factors, but positive horizontal margins have low local recurrence risk after en bloc resection.	Endoscopy・2023年55巻3号252-254ページ	Others
140	Saito, Y/Takamaru, H/Toyoshima, N	内視鏡科	Resection depth: a very important advantage for underwater EMR.	Endoscopy international open・2022年10巻6号E729-E730ページ	Others
141	Takamoto, T/Nara, S/Ban, D/他	肝胆膵外科	Application of albumin-bilirubin grade and platelet count to indocyanine green-based criteria for hepatectomy: Predicting impaired liver function and postoperative outcomes of hepatocellular carcinoma.	Journal of surgical oncology・2022年126巻4号680-688ページ	Original Article
142	Takamoto, T/Ban, D/Nara, S/他	肝胆膵外科	Automated Three-Dimensional Liver Reconstruction with Artificial Intelligence for Virtual Hepatectomy.	Journal of gastrointestinal surgery・2022年26巻10号2119-2127ページ	Original Article
143	Takamoto, T/Nara, S/Ban, D/他	肝胆膵外科	Chronological improvement of pancreatectomy for resectable but advanced pancreatic neuroendocrine neoplasms.	Pancreatology・2022年22巻8号1141-1147ページ	Original Article
144	Takamoto, T/Nara, S/Ban, D/他	肝胆膵外科	Enhanced Recognition Confidence of Millimeter-Sized Intrahepatic Targets by Real-Time Virtual Sonography.	Journal of ultrasound in medicine・2023年	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
145	Okura, K/Esaki, M/Nara, S/他	肝胆膵外科	Hepatoid carcinoma and related entities of the extrahepatic bile duct: A clinicopathological study of four cases.	Pathology international・2022年72巻6号332-342 ページ	Original Article
146	Kitamura, K/Esaki, M/Sone, M/他	肝胆膵外科	Prognostic Impact of Radiological Splenic Artery Involvement in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma of the Body and Tail.	Annals of surgical oncology・2022年29巻11号7047-7058ページ	Original Article
147	Takamoto, T/Nara, S/Ban, D/他	肝胆膵外科	Real-Time Ultrasound-Navigated Nonanatomical Liver Resection Using a Water-Jet Dissector.	Journal of the American College of Surgeons・2022年235巻6号e19-e22ページ	Original Article
148	Kitamura, K/Esaki, M/Sone, M/他	肝胆膵外科	ASO Author Reflections: Prognostic Impact of Radiological Splenic Artery Involvement in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma of the Body and Tail.	Annals of surgical oncology・2022年29巻11号7059-7060ページ	Others
149	Kitamura, K/Esaki, M/Sone, M/他	肝胆膵外科	ASO Visual Abstract: Prognostic Impact of Radiological Splenic Artery Involvement in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma of the Body and Tail.	Annals of surgical oncology・2022年29巻11号7061-7062ページ	Others
150	Kawasaki, Y/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	A novel endoscopic technique using fully covered self-expandable metallic stents for benign strictures after hepaticojejunostomy: the saddle-cross technique (with video).	Surgical endoscopy・2022年36巻12号9001-9010 ページ	Original Article
151	Takeshita, K/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Diagnostic Ability of Endoscopic Ultrasound-Guided Tissue Acquisition Using 19-Gauge Fine-Needle Biopsy Needle for Abdominal Lesions.	Diagnostics (Basel, Switzerland)・2023年13巻3号450ページ	Original Article
152	Morizane, C/Machida, N/Honma, Y/他	肝胆膵内科	Effectiveness of Etoposide and Cisplatin vs Irinotecan and Cisplatin Therapy for Patients With Advanced Neuroendocrine Carcinoma of the Digestive System: The TOPIC-NEC Phase 3 Randomized Clinical Trial.	JAMA oncology・2022年8巻10号1447-1455ページ	Original Article
153	Yoshinari, M/Hijioka, S/Okusaka, T/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasonography-guided hepaticogastrostomy with parenchymal metal stent placement.	Endoscopy・2022年54巻12号E719-E721ページ	Original Article
154	Koga, T/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy without fistula dilation using a stent with a 5.9-Fr delivery system: Comparison to a conventional procedure with fistula dilation.	DEN open・2022年2巻1号e56ページ	Original Article
155	Ikeda, G/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Fine-needle biopsy with 19G needle is effective in combination with endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition for genomic profiling of unresectable pancreatic cancer.	Digestive endoscopy・2023年35巻1号124-133ページ	Original Article
156	Okusaka, T/Kudo, M/Ikeda, K/他	肝胆膵内科	Impact of bodyweight-based starting doses on the safety and efficacy of lenvatinib in primarily Japanese patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatology research・2022年52巻9号784-793ページ	Original Article
157	Ohba, A/Morizane, C/Ueno, M/他	肝胆膵内科	Multicenter phase II trial of trastuzumab deruxtecan for HER2-positive unresectable or recurrent biliary tract cancer: HERB trial.	Future oncology (London, England)・2022年18巻19号2351-2360ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
158	Hisada, Y/Hijioka, S/Ikeda, G/他	肝胆膵内科	Proportion of unresectable pancreatic cancer specimens obtained by endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition meeting the OncoGuide NCC Oncopanel System analysis suitability criteria: a single-arm, phase II clinical trial.	Journal of gastroenterology・2022年57巻12号990-998ページ	Original Article
159	Ohba, A/Ueno, H/Shiba, S/他	肝胆膵内科	Safety and efficacy of S-IROX (S-1, irinotecan and oxaliplatin combination therapy) in patients with advanced pancreatic cancer: A multicenter phase 1b dose-escalation and dose-expansion clinical trial.	European journal of cancer (Oxford, England : 1990)・2022年174巻40-47ページ	Original Article
160	Hijioka, S/Morizane, C/Takaori, K/他	肝胆膵内科	Study protocol for a multi-institutional prospective surveillance study among kindreds with familial pancreatic cancer and individuals with hereditary pancreatic cancer syndrome: The Diamond Study.	Pancreatology・2022年22巻4号534-538ページ	Original Article
161	Satake, T/Morizane, C/Rikitake, R/他	肝胆膵内科	The epidemiology of rare types of hepatobiliary and pancreatic cancer from national cancer registry.	Journal of gastroenterology・2022年57巻11号890-901ページ	Original Article
162	Satake, T/Morizane, C/Maruki, Y/他	肝胆膵内科	The influence of UGT1A1 polymorphisms on modified FOLFIRINOX dose in double-variant-type patients with advanced pancreatic cancer.	International journal of clinical oncology・2022年27巻8号1331-1339ページ	Original Article
163	Harai, S/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Usefulness of the laser-cut, fully covered, self-expandable metallic stent for endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences・2022年29巻9号1035-1043ページ	Original Article
164	Kitamura, H/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	A case of high grade pancreatic intraepithelial neoplasia diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration.	Endoscopy・2022年54巻11号E628-E630ページ	Case report
165	Maehara, K/Hijioka, S/Kawasaki, Y/他	肝胆膵内科	A novel triple stenting in the treatment of post-choledochojejunostomy reflux cholangitis.	Endoscopy・2023年55巻S01号E191-E193ページ	Case report
166	Satake, T/Maruki, Y/Kubo, Y/他	肝胆膵内科	Atezolizumab-induced Encephalitis in a Patient with Hepatocellular Carcinoma: A Case Report and Literature Review.	Internal medicine (Tokyo, Japan)・2022年61巻17号2619-2623ページ	Case report
167	Takeshita, K/Hijioka, S/Maehara, K/他	肝胆膵内科	Bile duct radiofrequency ablation for a residual adenoma after endoscopic papillectomy.	Endoscopy・2023年55巻S01号E185-E188ページ	Case report
168	Kawasaki, Y/Hijioka, S/Takeshita, K/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided choledochojejunostomy using a forward-viewing echoendoscopic saddle-cross technique.	Endoscopy・2023年55巻S01号E233-E235ページ	Case report
169	Harai, S/Hijioka, S/Maruki, Y/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided hepaticoduodenostomy with antegrade stenting for recurrent hepatic hilar obstruction.	Endoscopy・2022年54巻8号E398-E400ページ	Case report
170	Takeshita, K/Hijioka, S/Kawasaki, Y/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided hepaticojejunostomy for drainage of the right posterior hepatic duct enabled total liver drainage.	Endoscopy・2023年55巻S01号E346-E348ページ	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
171	Kawasaki, Y/Hijioka, S/Maehara, K/他	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided intra- afferent loop entero-enterostomy using a forward-viewing echoendoscope and insertion of a metal stent.	Endoscopy・2022年54巻S 02号E815-E817ページ	Case report
172	Hijioka, S/Sakamoto, Y/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Novel and safe plastic stent exchange method after endoscopic ultrasound- guided hepaticogastrostomy with incomplete fistula (side hole method).	Endoscopy・2023年55巻S 01号E24-E25ページ	Case report
173	Hijioka, S/Sakamoto, Y/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Troubleshooting for endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy stent migration: Additional stenting by the partial stent-in-stent method.	Endoscopy・2023年55巻S 01号E122-E124ページ	Case report
174	Okusaka, T	肝胆膵内科	Treatment for postoperative recurrence of pancreatic cancer: a narrative review.	Chinese clinical oncology・ 2022年11巻3号19ページ	Review
175	Takeshita, K/Hijioka, S/Nagashio, Y/他	肝胆膵内科	Usefulness of a laser-cut covered metal stent with a 7F delivery sheath in endoscopic ultrasound-guided biliary drainage without fistula dilation.	Endoscopy international open・2023年11巻1号E97- E104ページ	Others
176	Takamori, H/Urabe, F/Matsuzaki, J/ 他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Circulating microRNA profiling for prediction of oncological outcomes in prostate cancer patients following radical prostatectomy.	The Prostate・2022年82巻 16号1537-1546ページ	Original Article
177	Kirisawa, T/Shiota, M/Kimura, T/Edamura, K/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Comparison of therapeutic features and oncologic outcome in patients with pN1 prostate cancer among robot- assisted, laparoscopic, or open radical prostatectomy.	International journal of clinical oncology・2023年 28巻2号306-313ページ	Original Article
178	Matsui, Y/Matsuda, A/Maejima, A/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	The clinical significance of perioperative inflammatory index as a prognostic factor for patients with retroperitoneal soft tissue sarcoma.	International journal of clinical oncology・2022年 27巻6号1093-1100ページ	Original Article
179	Takamori, H/Uetani, M/Yoshida, T/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	[A Case of Metastatic Adrenal Tumor with Liver Infiltration which was Successfully Resected by Laparoscopic Surgery Using Both Intraperitoneal and Retroperitoneal Approaches].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica・2022年 68巻6号179-183ページ	Case report
180	Takamori, H/Maeshima, AM/Kato, I/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	TFEB-translocated and -amplified renal cell carcinoma with VEGFA co- amplification: A case of long-term control by multimodal therapy including a vascular endothelial growth factor-receptor inhibitor.	IJU case reports・2023年6 巻3号161-164ページ	Case report
181	Takamori, H/Yamasaki, T/Kitadai, R/他	泌尿器・後腹膜腫瘍科	Development of drugs targeting hypoxia-inducible factor against tumor cells with VHL mutation: Story of 127 years.	Cancer science・2023年 114巻4号1208-1217ペー ジ	Review
182	Kobayashi, Kato, M/Asami, Y/Takayanagi, D/ 他	婦人腫瘍科	Clinical impact of genetic alterations of CTNNB1 in patients with grade 3 endometrial endometrioid carcinoma.	Cancer science・2022年 113巻5号1712-1721ペー ジ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
183	Ishikawa, M/Shibata, T/Kataoka, T/他	婦人腫瘍科	Final analysis of a randomized phase II/III trial of conventional paclitaxel and carboplatin with or without bevacizumab versus dose-dense paclitaxel and carboplatin with or without bevacizumab, in stage IVB, recurrent, or persistent cervical carcinoma (JCOG1311).	International journal of gynecological cancer・2023年33巻5号692-700ページ	Original Article
184	Kitamura, SI/Yoshida, H/Kobayashi-Kato, M/他	婦人腫瘍科	Adenoid Basal Carcinoma with Adenoid Cystic Carcinoma Component of the Uterine Cervix: A Case Report and Literature Review.	International journal of surgical pathology・2022年10668969221134600ページ	Case report
185	Natsume, T/Yoshida, H/Nishikawa, T/他	婦人腫瘍科	Uterine Leiomyosarcoma Masquerading as a Malignant Perivascular Epithelioid Cell Tumor: A Diagnostic Challenge.	International journal of surgical pathology・2022年10668969221133300ページ	Case report
186	Tanase, Y/Kato, MK/Uno, M/他	婦人腫瘍科	Variations in Procedures for Ureterolysis with Sharp Dissection in Minimally Invasive Hysterectomy.	Gynecology and minimally invasive therapy・2022年11巻3号171-173ページ	Letter
187	Ishihara, S/Ogura, K/Maejima, A/Shimoi, T/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Predictive value of peripheral blood markers in soft tissue sarcoma patients treated with eribulin.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻6号494-500ページ	Original Article
188	Nakayama, S/Kobayashi, E/Nishio, J/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Prognostic Factors of Pulmonary Metastasectomy for Soft Tissue Sarcomas Arising in the Trunk Wall and Extremities.	Cancers・2022年14巻14号3329ページ	Original Article
189	Ogura, K/Elkrief, A/Bowman, AS/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Prospective Clinical Genomic Profiling of Ewing Sarcoma: ERF and FGFR1 Mutations as Recurrent Secondary Alterations of Potential Biologic and Therapeutic Relevance.	JCO precision oncology・2022年6巻e2200048ページ	Original Article
190	Kawai, A/Narahara, H/Takahashi, S/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Safety and effectiveness of eribulin in Japanese patients with soft tissue sarcoma including rare subtypes: a post-marketing observational study.	BMC cancer・2022年22巻1号528ページ	Original Article
191	Kawai, A	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	The Shape of Tumor Treatment in this Country.	Journal of orthopaedic science・2022年27巻3号511-513ページ	Letter
192	Kawai, A/Araki, N/Ae, K/Akiyama, T/他	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	Japanese Orthopaedic Association (JOA) clinical practice guidelines on the management of soft tissue tumors 2020 - Secondary publication.	Journal of orthopaedic science・2022年27巻3号533-550ページ	Others
193	Yamazaki, N/Isei, T/Kiyohara, Y/他	皮膚腫瘍科	A phase I study of the safety and efficacy of talimogene laherparepvec in Japanese patients with advanced melanoma.	Cancer science・2022年113巻8号2798-2806ページ	Original Article
194	Okumura, M/Ogata, D/Namikawa, K/他	皮膚腫瘍科	Postoperative radiation therapy improves prognoses in extramammary Paget's disease presenting with multiple lymph node metastases.	The Journal of dermatology・2022年49巻10号1005-1011ページ	Original Article
195	Yamazaki, N/Shimizu, A/Ozaki, M/他	皮膚腫瘍科	Real-world safety and effectiveness of pembrolizumab in Japanese patients with radically unresectable melanoma: An all-case postmarketing surveillance in Japan.	The Journal of dermatology・2022年49巻11号1096-1105ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
196	Ogata, D/Tsutsui, K/Namikawa, K/Moritani, K/他	皮膚腫瘍科	Treatment outcomes and prognostic factors in 47 patients with primary anorectal malignant melanoma in the immune therapy era.	Journal of cancer research and clinical oncology・2023年149巻2号749-755ページ	Original Article
197	Okumura, M/Nakano, E/Namikawa, K/ 他	皮膚腫瘍科	Efficacy of surgery for skin cancers initially suspected to be carcinoma of unknown primary: a retrospective observational study.	International journal of dermatology・2022年61巻4号e150-e152ページ	Case report
198	Jinnai, S/Namikawa, K/Takahashi, A/ 他	皮膚腫瘍科	Incidence and patterns of lymphatic drainage to the epitrochlear and popliteal sentinel lymph nodes in malignant melanoma of the distal extremities: a single-institution retrospective study.	International journal of dermatology・2022年61巻7号855-860ページ	Case report
199	Ishiguro, A/Ogata, D/Okuma, K/他	皮膚腫瘍科	Malignant melanoma treatment using brachytherapy: Two case reports and 15 case series.	The Journal of dermatology・2023年50巻1号94-97ページ	Case report
200	Ishiguro, A/Ogata, D/Ohashi, K/他	皮膚腫瘍科	Type 1 diabetes associated with immune checkpoint inhibitors for malignant melanoma: A case report and review of 8 cases.	Medicine・2022年101巻35号e30398ページ	Case report
201	Yamakawa, K/Ogata, D/Hiki, K/Jinnai, S/他	皮膚腫瘍科	Metastatic basal cell carcinoma with a high tumor mutational burden that achieved complete response with pembrolizumab.	International journal of dermatology・2023年62巻2号e79-e80ページ	Letter
202	Hiki, K/Ogata, D/Hisada, I/他	皮膚腫瘍科	Minimally invasive surgery combined with excision and endoscopic submucosal dissection for anorectal melanoma.	The Journal of dermatology・2023年50巻1号e26-e27ページ	Letter
203	Mizuta, H/Ogata, D/Jinnai, S/他	皮膚腫瘍科	Pathological complete response to preoperative avelumab treatment in a patient with advanced Merkel cell carcinoma.	Dermatology online journal・2022年28巻5号	Letter
204	Izutsu, K/Makita, S/Nosaka, K/他	血液腫瘍科	An open-label, single-arm phase 2 trial of valemetostat for relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma.	Blood・2023年141巻10号1159-1168ページ	Original Article
205	Fukuhara, S/Oshikawa- Kumade, Y/Kogure, Y/他	血液腫瘍科	Feasibility and clinical utility of comprehensive genomic profiling of hematological malignancies.	Cancer science・2022年113巻8号2763-2777ページ	Original Article
206	Hatta, S/Fukuhara, S/Fujino, T/他	血液腫瘍科	The role of surveillance computed tomography in patients with follicular lymphoma.	Therapeutic advances in hematology・2022年13巻20406207221095900ページ	Original Article
207	Makita, S/Yamamoto, G/Maruyama, D/ 他	血液腫瘍科	Phase 2 results of lisocabtagene maraleucel in Japanese patients with relapsed/refractory aggressive B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Cancer medicine・2022年11巻24号4889-4899ページ	Others
208	Clark, KA/Paquette, A/Tao, K/他	小児腫瘍科	Comprehensive evaluation and efficient classification of BRCA1 RING domain missense substitutions.	American journal of human genetics・2022年109巻6号1153-1174ページ	Original Article
209	Tao, K/Inamoto, Y/Furukawa, H/ 他	小児腫瘍科	Romidepsin-induced durable remission for relapsed nodal peripheral T-cell lymphoma with T follicular helper phenotype after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	International journal of hematology・2023年	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
210	Tanimura, K/Nakajima, M/Shirakawa, N/他	小児腫瘍科	Surgical site infection caused by Rhizopus caespitosus after metastasectomy for osteosarcoma: First report of infection in humans.	Pediatric blood & cancer・2023年70巻4号e30049 ページ	Case report
211	Tanimura, K/Nakano, Y/Sato-Otsubo, A/他	小児腫瘍科	Radiation-induced osteosarcoma in a patient with DICER1 syndrome.	Pediatric blood & cancer・2022年69巻12号e29782 ページ	Letter
212	Kubo, E/Ishiki, H/Abe, K/他	緩和医療科	Clinical role and safety of tapentadol in patients with cancer: A single-center experience.	Journal of opioid management・2022年18巻3号273-280ページ	Original Article
213	Amano, K/Morita, T/Miura, T/他	緩和医療科	Development and validation of questionnaires for eating-related distress among advanced cancer patients and families.	Journal of cachexia, sarcopenia and muscle・2023年14巻1号310-325 ページ	Original Article
214	Amano, K/Bruera, E/Hui, D	緩和医療科	Diagnostic and prognostic utility of phase angle in patients with cancer.	Reviews in endocrine & metabolic disorders・2023年24巻3号479-489ページ	Original Article
215	Amano, K/Koshimoto, S/Hopkinson, JB/他	緩和医療科	Perspectives of Health Care Professionals on Multimodal Interventions for Cancer Cachexia.	Palliative medicine reports・2022年3巻1号244-254ページ	Original Article
216	Ishiki, H/Hasuo, H/Matsuda, Y/他	緩和医療科	Prevalence of Myofascial Pain Syndrome and Efficacy of Trigger Point Injection in Patients with Incurable Cancer: A Multicenter, Prospective Observational Study (MyCar Study).	Pain medicine (Malden, Mass.)・2022年23巻7号1259-1265ページ	Original Article
217	Amano, K/Hopkinson, J/Baracos, V	緩和医療科	Psychological symptoms of illness and emotional distress in advanced cancer cachexia.	Current opinion in clinical nutrition and metabolic care・2022年25巻3号167-172ページ	Original Article
218	Ishiki, H/Kikawa, Y/Terada, M/他	緩和医療科	Patient-reported outcome and quality of life research policy: Japan Clinical Oncology Group (JCOG) policy.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻3号195-202ページ	Others
219	Hirayama, T/Fujimori, M/Yanai, Y/他	精神腫瘍科	Development and evaluation of the feasibility, validity, and reliability of a screening tool for determining distress and supportive care needs of adolescents and young adults with cancer in Japan.	Palliative & supportive care・2022年44937ページ	Original Article
220	Hirayama, T/Fujimori, M/Ito, Y/他	精神腫瘍科	Feasibility and preliminary effectiveness of a psychosocial support program for adolescent and young adult cancer patients in clinical practice: a retrospective observational study.	Supportive care in cancer・2023年31巻2号146ページ	Original Article
221	Hirayama, T/Ikezawa, S/Okubo, R/他	精神腫瘍科	Mental health care use and related factors in adolescents and young adults with cancer.	Supportive care in cancer・2023年31巻4号247ページ	Original Article
222	Matsuoka, H/Tsurutani, J/Chiba, Y/他	精神腫瘍科	Morphine Versus Oxycodone for Cancer Pain Using a Catechol-O-methyltransferase Genotype Biomarker: A Multicenter, Randomized, Open-Label, Phase III Clinical Trial (RELIEF Study).	The oncologist・2023年28巻3号278-e166ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
223	Sadahiro, R/Wada, S/Matsuoka, YJ/Uchitomi, Y/Yamaguchi, T/Sato, T/Esaki, M/Yoshimoto, S/Daiko, H/Kanemitsu, Y/Kawai, A/Kato, T/Fujimoto, H/Uezono, Y/Shimizu, K/Matsuoka, H他	精神腫瘍科	Prevention of delirium with agitation by yokukansan in older adults after cancer surgery.	Japanese journal of clinical oncology・2022年52巻11号1276-1281ページ	Original Article
224	Matsuoka, H	精神腫瘍科	[Psycho-Oncology: An Overview of Clinical Practice Guidelines for the Care of Psychologically Distressed Bereaved Families Who Have Lost a Family Member to Physical Illness, Including Cancer].	Brain and nerve = Shinkei kenkyu no shingo・2023年75巻1号77-83ページ	Review
225	Matsuoka, H/Clark, K/Fazekas, B/他	精神腫瘍科	Phase III, international, multicentre, double-blind, dose increment, parallel-arm, randomised controlled trial of duloxetine versus pregabalin for opioid-unresponsive neuropathic cancer pain: a JORTC-PAL16 trial protocol.	BMJ open・2022年12巻2号e050182ページ	Others
226	Terada, T/Hirayama, T/Sadahiro, R/他	精神腫瘍科	Pilot Study of Lemborexant for Insomnia in Cancer Patients with Delirium.	Journal of palliative medicine・2022年25巻5号797-801ページ	Others
227	Hasegawa, T/Arai, Y/Sone, M/他	放射線診断科	Clinical outcomes of image-guided percutaneous drainage of pericardial effusion in cancer patients: A single-center retrospective analysis.	Asia-Pacific journal of clinical oncology・2023年19巻1号257-262ページ	Original Article
228	Kajiyama, A/Ito, K/Watanabe, H/Mizumura, S/ 他	放射線診断科	Consistency and prognostic value of preoperative staging and postoperative pathological staging using (18)F-FDG PET/MRI in patients with non-small cell lung cancer.	Annals of nuclear medicine・2022年36巻12号1059-1072ページ	Original Article
229	Kubo, T/Arai, Y/Sone, M/他	放射線診断科	Detectability of feeding arteries using automated feeding artery detection software based on CT arteriography in transarterial embolisation.	Singapore medical journal・2022年	Original Article
230	Koretsune, Y/Sone, M/Arai, Y/他	放射線診断科	Direct Puncture of the Left Gastric Vein for Glue Embolization of Gastric Varices Associated with Sinistral Portal Hypertension.	Journal of vascular and interventional radiology・2023年34巻3号512-513ページ	Original Article
231	Kubo, T/Arai, Y/Sone, M/他	放射線診断科	Image-guided percutaneous needle biopsy for the diagnosis of cancer of unknown primary.	Asia-Pacific journal of clinical oncology・2022年18巻5号e479-e485ページ	Original Article
232	Kaku, S/Horinouchi, H/Watanabe, H/ 他	放射線診断科	Incidence and prognostic factors in severe drug-induced interstitial lung disease caused by antineoplastic drug therapy in the real world.	Journal of cancer research and clinical oncology・2022年148巻7号1737-1746ページ	Original Article
233	Itou, C/Arai, Y/Sone, M/他	放射線診断科	Percutaneous Radiologic Gastrostomy in Patients After Partial Gastrectomy: A Retrospective Study to Assess the Technical Feasibility of Postsurgical Remnant Stomach Access.	Cardiovascular and interventional radiology・2022年45巻8号1214-1224ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
234	Sugawara, H/Yatabe, Y/Watanabe, H/ 他	放射線診断科	Radiological precursor lesions of lung squamous cell carcinoma: Early progression patterns and divergent volume doubling time between hilar and peripheral zones.	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands)・2023年176巻31-37ページ	Original Article
235	Koretsune, Y/Sone, M/Sugawara, S/ 他	放射線診断科	Validation of a convolutional neural network for the automated creation of curved planar reconstruction images along the main pancreatic duct.	Japanese journal of radiology・2023年41巻2号228-234ページ	Original Article
236	Ozawa, M/Arai, Y/Sone, M/他	放射線診断科	Jejunal Obstruction Due to Fractured Duodenal Stent: Percutaneous Recovering with Additional Stent Placement.	Cardiovascular and interventional radiology・2022年45巻9号1408-1410ページ	Case report
237	Itou, C/Arai, Y/Sone, M/他	放射線診断科	Ureteral Displacement Using the Pushing Guidewire Technique to Assist Antegrade Pyeloperfusion in Renal Cryoablation: Report of Two Cases.	Cardiovascular and interventional radiology・2022年45巻7号1030-1034ページ	Case report
238	Sone, M/Sugawara, S/Yatabe, Y	放射線診断科	Role of Image-Guided Percutaneous Needle Biopsy in the Age of Precision Medicine.	Current oncology reports・2022年24巻8号1035-1044ページ	Review
239	Sugawara, S	放射線診断科	Portal Vein Embolization Using N-Butyl Cyanoacrylate-Glue: What Impact Does a Central Vascular Plug Have?.	Cardiovascular and interventional radiology・2022年45巻4号459-460ページ	Others
240	Kashihara, T/Urago, Y/Okamoto, H/ 他	放射線治療科	A preliminary study on rectal dose reduction associated with hyaluronic acid implantation in brachytherapy for prostate cancer.	Asian Journal of Urology・2023年	Original Article
241	Murakami, N/Ando, K/Murata, M/他	放射線治療科	An Asian multi-national multi-institutional retrospective study comparing intracavitary versus the hybrid of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced uterine cervical carcinoma	Journal of radiation research・2022年63巻3号412-427ページ	Original Article
242	Nakaichi, T/Nakamura, S/Ito, K/他	放射線治療科	Analyzing spatial distribution between (18)F-fluorodeoxyglucose and (18)F-boronophenylalanine positron emission tomography to investigate selection indicators for boron neutron capture therapy.	EJNMMI physics・2022年9巻1号89ページ	Original Article
243	Shimizu, Y/Murakami, N/Mori, T/他	放射線治療科	Clinical impact of p16 positivity in nasopharyngeal carcinoma.	Laryngoscope investigative otolaryngology・2022年7巻4号994-1001ページ	Original Article
244	Kashihara, T/Ogata, D/Okuma, K/他	放射線治療科	Clinical significance of local control of primary tumour in definitive radiotherapy for scalp angiosarcomas.	Skin research and technology・2023年29巻1号e13243ページ	Original Article
245	Nakaichi, T/Okamoto, H/Kon, M/他	放射線治療科	Commissioning and performance evaluation of commercially available mobile imager for image guided total body irradiation.	Journal of applied clinical medical physics・2023年24巻4号e13865ページ	Original Article
246	Kobayashi, R/Murakami, N/Chiba, T/他	放射線治療科	Effect of Hyaluronate Acid Injection on Dose-Volume Parameters in Brachytherapy for Cervical Cancer.	Advances in radiation oncology・2022年7巻3号100918ページ	Original Article
247	Mizuno, N/Okamoto, H/Minemura, T/ 他	放射線治療科	Establishing quality indicators to comprehensively assess quality assurance and patient safety in radiotherapy and their relationship with an institution's background.	Radiotherapy and oncology・2023年179巻109452ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
248	Takemori, M/Nakamura, S/Sofue, T/他	放射線治療科	Failure modes and effects analysis study for accelerator-based Boron Neutron Capture Therapy.	Medical physics・2023年50巻1号424-439ページ	Original Article
249	Nakayama, H/Okamoto, H/Nakamura, S/ 他	放射線治療科	Film measurement and analytical approach for assessing treatment accuracy and latency in a magnetic resonance-guided radiotherapy system.	Journal of applied clinical medical physics・2023年24巻5号e13915ページ	Original Article
250	Murakami, N/Masui, K/Yoshida, K/他	放射線治療科	Hands-on seminar for image-guided adaptive brachytherapy and intracavitary/interstitial brachytherapy for uterine cervical cancer.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻6号508-513ページ	Original Article
251	Nishioka, S/Okamoto, H/Chiba, T/他	放射線治療科	Identifying risk characteristics using failure mode and effect analysis for risk management in online magnetic resonance-guided adaptive radiation therapy.	Physics and imaging in radiation oncology・2022年23巻44933ページ	Original Article
252	Kashihara, T/Nakayama, Y/Okuma, K/他	放射線治療科	Impact of interstitial lung abnormality on survival after adjuvant durvalumab with chemoradiotherapy for locally advanced non-small cell lung cancer.	Radiotherapy and oncology・2023年180巻109454ページ	Original Article
253	Murakami, N/Watanabe, M/Uno, T/他	放射線治療科	Large volume was associated with increased risk of acute non-hematologic adverse events in the hybrid of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced uterine cervical cancer: preliminary results of prospective phase I/II clinical trial.	Japanese journal of clinical oncology・2022年52巻8号859-868ページ	Original Article
254	Itami, J/Kobayashi, K/Mori, T/他	放射線治療科	Non-Robustness of Ang's Risk Classification in Human Papillomavirus-Related Oropharyngeal Squamous Cell Carcinoma in Japanese Patients.	Cancers・2022年14巻10号2442ページ	Original Article
255	Murakami, N/Watanabe, M/Uno, T/他	放射線治療科	Phase I/II prospective clinical trial for the hybrid of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced uterine cervical cancer.	Journal of gynecologic oncology・2023年34巻3号e24ページ	Original Article
256	Okamoto, H/Murakami, N/Isohashi, F/他	放射線治療科	Plan quality association between dummy run and individual case review in a prospective multi-institutional clinical trial of postoperative cervical cancer patients treated with intensity-modulated radiotherapy: Japan clinical Oncology Group study (JCOG1402).	Radiotherapy and oncology・2023年183巻109630ページ	Original Article
257	Kon, M/Okamoto, H/Nakamura, S/ 他	放射線治療科	Planning study: prone versus supine position for stereotactic body radiotherapy in prostate by CyberKnife.	Journal of radiation research・2023年64巻1号186-194ページ	Original Article
258	Okamoto, H/Igaki, H/Chiba, T/他	放射線治療科	Practical guidelines of online MR-guided adaptive radiotherapy.	Journal of radiation research・2022年63巻5号730-740ページ	Original Article
259	Asami, Y/Hiranuma, K/Takayanagi, D/ 他	放射線治療科	Predictive model for the preoperative assessment and prognostic modeling of lymph node metastasis in endometrial cancer.	Scientific reports・2022年12巻1号19004ページ	Original Article
260	Miyata, Y/Murakami, N/Okuma, K/他	放射線治療科	Salvage image-guided freehand interstitial brachytherapy for pelvic sidewall recurrence after hysterectomy for uterine malignancies.	Brachytherapy・2022年21巻5号647-657ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
261	Miyata, Y/Murakami, N/Honma, Y/他	放射線治療科	Technical report: a high-dose-rate interstitial brachytherapy boost for residual sinonasal undifferentiated carcinoma.	Journal of radiation research・2022年63巻6号 879-883ページ	Original Article
262	Murakami, N/Ohno, T/Toita, T/他	放射線治療科	Japanese Society for Radiation Oncology Consensus Guidelines of combined intracavitary and interstitial brachytherapy for gynecological cancers.	Journal of radiation research・2022年63巻3号 402-411ページ	Review
263	Murakami, N/Takano, A/Niizeki, I/他	放射線治療科	Nursing management of patients receiving interstitial brachytherapy for head and neck malignancies.	Brachytherapy・2023年22巻2号214-220ページ	Review
264	Murakami, N/Okuma, K/Takahashi, A/ 他	放射線治療科	Is it time to modify the Japanese Uterine Cervical Cancer Guidelines to recommend a higher dose for radio-resistant tumors?.	Japanese journal of clinical oncology・2023年53巻2号 179-181ページ	Letter
265	Murakami, N/Okuma, K/Kato, T/他	放射線治療科	Now is it time to implement spacers in cervical cancer brachytherapy?.	Journal of radiation research・2022年63巻4号 696-698ページ	Letter
266	Okamoto, H/Iijima, K/Chiba, T/他	放射線治療科	Technical note: Analysis of brachytherapy source movement by high-speed camera.	Medical physics・2022年49巻7号4804-4811ページ	Others
267	Kashima, J/Okuma, Y	病理診断科	Advances in biology and novel treatments of SCLC: The four-color problem in uncharted territory.	Seminars in cancer biology・2022年86巻Pt 2 号386-395ページ	Original Article
268	Hashimoto, T/Takayanagi, D/Yonemaru, J/ 他	病理診断科	Clinicopathological and molecular characteristics of RSPO fusion-positive colorectal cancer.	British journal of cancer・2022年127巻6号1043-1050ページ	Original Article
269	Kojima, N/Arai, Y/Satomi, K/他	病理診断科	Co-expression of ERG and CD31 in a subset of CIC-rearranged sarcoma: a potential diagnostic pitfall.	Modern pathology・2022年35巻10号1439-1448ページ	Original Article
270	Maeshima, AM/Taniguchi, H/Furukawa, H/ 他	病理診断科	Diagnostic clues of BCL2-negative, faint, or controversial follicular lymphomas: a study of 103 cases.	Human pathology・2023年135巻84-92ページ	Original Article
271	Kojima, N/Mori, T/Motoi, T/他	病理診断科	Frequent CD30 Expression in an Emerging Group of Mesenchymal Tumors With NTRK, BRAF, RAF1, or RET Fusions.	Modern pathology・2023年36巻4号100083ページ	Original Article
272	Kashima, J/Hashimoto, T/Yoshida, A/他	病理診断科	Insulinoma-associated-1 (INSM1) expression in thymic squamous cell carcinoma.	Virchows Archiv・2022年481巻6号893-901ページ	Original Article
273	Sugino, H/Iwata, S/Satomi, K/他	病理診断科	Keratin-positive fibrotic extraskeletal myxoid chondrosarcoma: a close mimic of myoepithelial tumour.	Histopathology・2023年82巻6号937-945ページ	Original Article
274	Naka, T/Hashimoto, T/Yoshida, T/他	病理診断科	KLF4 c.A1322C Mutation Is a Consistent and Specific Genetic Feature of Raspberry-like Foveolar-type Adenoma of the Stomach.	The American journal of surgical pathology・2023年47巻4号521-523ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
275	Kojima, N/Komiyama, M/Shinoda, Y/他	病理診断科	Liposarcoma With Hibernoma-like Histology: A Clinicopathologic Study of 16 Cases.	The American journal of surgical pathology・2022年46巻10号1319-1328ページ	Original Article
276	Kishikawa, S/Hayashi, T/Shimizu, J/他	病理診断科	Low-grade tracheal adenocarcinoma with ETV6::NTRK3 fusion: unique morphology akin to subsets of sinonasal low-grade non-intestinal-type adenocarcinoma.	Virchows Archiv・2022年481巻5号793-797ページ	Original Article
277	Naka, T/Hashimoto, T/Cho, H/他	病理診断科	Sporadic and Familial Adenomatous Polyposis-associated Foveolar-type Adenoma of the Stomach.	The American journal of surgical pathology・2023年47巻1号91-101ページ	Original Article
278	Yoshida, H/Uno, M/Ogimoto, K/他	病理診断科	Endometrioid Endometrial Carcinoma With NKX3.1 Expression in a Transgender Man: A Case Report.	International journal of gynecological pathology・2023年42巻3号308-314ページ	Case report
279	Sugino, H/Satomi, K/Mori, T/他	病理診断科	High-grade neuroepithelial tumor with EP300::BCOR fusion and negative BCOR immunohistochemical expression: a case report.	Brain tumor pathology・2023年40巻2号133-141ページ	Case report
280	Kojima, N/Yoshida, H/Uno, M/他	病理診断科	Microcystic stromal tumor of the ovary: a recurrent case with somatic CTNNB1 missense mutation.	Virchows Archiv・2022年481巻5号799-804ページ	Case report
281	Yoshida, A	病理診断科	Ewing and Ewing-like sarcomas: A morphological guide through genetically-defined entities.	Pathology international・2023年73巻1号45286ページ	Review
282	Mori, T	病理診断科	Involvement of the p53-p16/RB pathway control mechanism in early-stage carcinogenesis in head and neck squamous cell carcinoma.	Pathology international・2022年72巻12号577-588ページ	Review
283	Tsubokura, M/Adegawa, Y/Kojima, M/他	臨床検査科	Adverse effects of cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy for malignant ascites: a single-institute experience.	BMC cancer・2022年22巻1号268ページ	Original Article
284	Sunami, K/Naito, Y/Komine, K/他	臨床検査科	Chronological improvement in precision oncology implementation in Japan.	Cancer science・2022年113巻11号3995-4000ページ	Original Article
285	Kitano, S/Fujiwara, Y/Shimizu, T/他	先端医療科	A feasibility study of lenvatinib plus pembrolizumab in Japanese patients with advanced solid tumors.	Cancer chemotherapy and pharmacology・2022年90巻6号523-529ページ	Original Article
286	Ida, H/Koyama, T/Mizuno, T/他	先端医療科	Clinical utility of comprehensive genomic profiling tests for advanced or metastatic solid tumor in clinical practice.	Cancer science・2022年113巻12号4300-4310ページ	Original Article
287	Katsuya, Y/Kitano, S/Yamashita, M/他	先端医療科	Comprehensive biomarker analysis from phase II study of nivolumab in patients with thymic carcinoma.	Frontiers in oncology・2022年12巻966527ページ	Original Article
288	Sato, J/Shimizu, T/Koyama, T/他	先端医療科	Dose Escalation Data from the Phase 1 Study of the Liposomal Formulation of Eribulin (E7389-LF) in Japanese Patients with Advanced Solid Tumors.	Clinical cancer research・2022年28巻9号1783-1791ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
289	Iwasa, S/Koyama, T/Nishino, M/他	先端医療科	First-in-human study of ONO-4578, an antagonist of prostaglandin E(2) receptor 4, alone and with nivolumab in solid tumors.	Cancer science・2023年114巻1号211-220ページ	Original Article
290	Takamizawa, S/Katsuya, Y/Chen, YN/他	先端医療科	Ocular toxicity of investigational anti-cancer drugs in early phase clinical trials.	Investigational new drugs・2023年41巻1号173-181ページ	Original Article
291	Shimizu, T/Nakagawa, K/Hayashi, H/他	先端医療科	Oral formulation of bendamustine hydrochloride for patients with advanced solid tumors; a phase 1 study.	Investigational new drugs・2023年41巻1号44938ページ	Original Article
292	Koyama, T/Shimizu, T/Sato, J/他	先端医療科	Practical consideration for successful sequential tumor biopsies in first-in-human trials.	Investigational new drugs・2022年40巻4号841-849ページ	Original Article
293	Kondo, S/Iwasa, S/Koyama, T/他	先端医療科	Safety, tolerability, pharmacokinetics, and antitumour activity of oleclumab in Japanese patients with advanced solid malignancies: a phase I, open-label study.	International journal of clinical oncology・2022年27巻12号1795-1804ページ	Original Article
294	Yonemori, K/Kuboki, Y/Hasegawa, K/他	先端医療科	Tisotumab vedotin in Japanese patients with recurrent/metastatic cervical cancer: Results from the innovaTV 206 study.	Cancer science・2022年113巻8号2788-2797ページ	Original Article
295	Mizuno, T/Katsuya, Y/Sato, J/他	先端医療科	Emerging PD-1/PD-L1 targeting immunotherapy in non-small cell lung cancer: Current status and future perspective in Japan, US, EU, and China.	Frontiers in oncology・2022年12巻925938ページ	Review
296	Ono, T, Kondo, T	希少がんセンター	Data of distinct stromal protein expressions between sarcoma patient-derived models and their primary tumors.	Journal of Proteome Data and Methods・2023年5巻	Original Article
297	Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/Sin, Y/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of a novel patient-derived cell line of dedifferentiated liposarcoma, NCC-DDLPS6-C1.	Human cell・2022年35巻4号1270-1278ページ	Original Article
298	Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/Sin, Y/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of a novel patient-derived Ewing sarcoma cell line, NCC-ES2-C1.	Human cell・2022年35巻4号1262-1269ページ	Original Article
299	Akiyama, T/Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-DSM1-C1: a novel cell line derived from a patient with desmoid fibromatosis.	Human cell・2023年36巻2号847-853ページ	Original Article
300	Akiyama, T/Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-GCTB5-C1: a novel cell line of giant cell tumor of bone.	Human cell・2022年35巻5号1621-1629ページ	Original Article
301	Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/Sin, Y/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-MFS6-C1: a novel patient-derived cell line of myxofibrosarcoma.	Human cell・2022年35巻6号1993-2001ページ	Original Article
302	Akiyama, T/Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-MRT1-C1: a novel cell line of malignant rhabdoid tumor.	Human cell・2022年35巻6号2002-2010ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
303	Akiyama, T/Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-PLPS2-C1: a novel cell line of pleomorphic liposarcoma.	Human cell・2023年36巻1号468-475ページ	Original Article
304	Akiyama, T/Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-PS1-C1: a novel cell line of pleomorphic sarcoma from a patient after neoadjuvant radiotherapy.	Human cell・2022年35巻6号2011-2019ページ	Original Article
305	Yoshimatsu, Y/Noguchi, R/Sin, Y/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of NCC-SS5-C1: a novel patient-derived cell line of synovial sarcoma.	Human cell・2022年35巻4号1290-1297ページ	Original Article
306	Noguchi, R/Yoshimatsu, Y/Sin, Y/他	希少がんセンター	Establishment and characterization of two novel patient-derived myxoid liposarcoma cell lines.	Human cell・2022年35巻4号1279-1289ページ	Original Article
307	Sin, Y/Ono, T/Tsuchiya, R/他	希少がんセンター	Proteomic analysis of spheroids of rhabdomyosarcoma cells cultured with decellularized muscle extracts.	J Electrophoresis・2022年66巻1号44930ページ	Original Article
308	Satake, T/Morizane, C/Rikitake, R/他	希少がんセンター	Correction: The epidemiology of rare types of hepatobiliary and pancreatic cancer from national cancer registry.	Journal of gastroenterology・2023年58巻2号184ページ	Others
309	Zenda, S/Arai, Y/Sugawara, S/他	支持療法開発部門	Protocol for a confirmatory trial of the effectiveness and safety of palliative arterial embolization for painful bone metastases.	BMC cancer・2023年23巻1号109ページ	Original Article
310	Sekiguchi, M/Hotta, K/Takeuchi, Y/ 他	検診部門	Characteristics of colorectal neuroendocrine tumors in patients prospectively enrolled in a Japanese multicenter study: a first report from the C-NET STUDY.	Journal of gastroenterology・2022年57巻8号547-558ページ	Original Article
311	Sekiguchi, M/Igarashi, A/Toyoshima, N/ 他	検診部門	Cost-effectiveness analysis of computer-aided detection systems for colonoscopy in Japan.	Digestive endoscopy・2023年	Original Article
312	Sekiguchi, M/Westerberg, M/Ekbom, A/他	検診部門	Detection rates of colorectal neoplasia during colonoscopies and their associated factors in the SCREESCO study.	Journal of gastroenterology and hepatology・2022年37巻11号2120-2130ページ	Original Article
313	Sekiguchi, M/Westerberg, M/Ekbom, A/他	検診部門	Endoscopist Characteristics and Polyp Detection in Colonoscopy: Cross-Sectional Analyses of Screening of Swedish Colons.	Gastroenterology・2023年164巻2号293-295.e4ページ	Original Article
314	Sekiguchi, M/Oda, I/Morita, S/他	検診部門	Management of elderly patients with early gastric cancer in Japan.	Japanese journal of clinical oncology・2022年52巻5号425-432ページ	Original Article
315	Kobayashi, N/Takeuchi, Y/Ohata, K/他	検診部門	Outcomes of endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasms: Prospective, multicenter, cohort trial.	Digestive endoscopy・2022年34巻5号1042-1051ページ	Original Article
316	Sekiguchi, M/Matsuda, T/Hotta, K/他	検診部門	Post-polypectomy surveillance: the present and the future.	Clinical endoscopy・2022年55巻4号489-495ページ	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
317	Nakamura, S/Murakami, N/Suzuki, S/他	放射線品質管理室	Monte Carlo simulation of tilted contact plaque brachytherapy placement for juxtapapillary retinoblastoma.	Radiation oncology (London, England)・2022年17巻1号16ページ	Original Article
318	Iwata, S/Sonoyama, T/Kamitani, A/他	感染症部	Phase 1/2 clinical trial of COVID-19 vaccine in Japanese participants: A report of interim findings.	Vaccine・2022年40巻27号3721-3726ページ	Original Article
319	Iwata, S/Hanada, S/Takata, M/他	感染症部	Risk factors and pathogen characteristics associated with unfavorable outcomes among adults with pneumococcal meningitis in Japan, 2006 to 2016.	Journal of infection and chemotherapy・2023年29巻7号637-645ページ	Original Article
320	Mukai, M/Ogasawara, K	医療情報部	Analysis of Factors Hindering the Dissemination of Medical Information Standards.	Healthcare (Basel, Switzerland)・2022年10巻7号1248ページ	Original Article
321	Saito, Y/Shimoi, T/Iwata, S/Maejima, A/他	薬剤部	Impact of relative dose intensity of trabectedin with pegfilgrastim support: a single-centre retrospective study.	Journal of chemotherapy (Florence, Italy)・2023年44934ページ	Original Article
322	Tashiro, R/Kawazoe, H/Mamishin, K/Seto, K/Udagawa, R/Saito, Y/Hashimoto, H/Shimoi, T/Yonemori, K/Yonemura, M/Terakado, H/Kawasaki, T/Furukawa, T/Nakamura, T他	薬剤部	Patient-associated risk factors for severe anemia in patients with advanced ovarian or breast cancer receiving olaparib monotherapy: A multicenter retrospective study.	Frontiers in oncology・2022年12巻898150ページ	Original Article
323	Kitazume, Y/Kawazoe, H/Uozumi, R/Yoshizawa, T/Iihara, H/Fujii, H/Takahashi, M/Arai, T/Murachi, Y/Sato, Y/Mikami, T/Hashiguchi, K/Yamazaki, T/Takahashi, K/Fujita, Y/Hosokawa, Y/Morozumi, I/Tsuchiya, M/Yokoyama, A/Hashimoto, H/Yamaguchi, M他	薬剤部	Proton pump inhibitors affect capecitabine efficacy in patients with stage II-III colorectal cancer: a multicenter retrospective study.	Scientific reports・2022年12巻1号6561ページ	Original Article
324	Urikura, A/Miyauchi, Y/Yoshida, T/他	放射線技術部	Patient dose increase caused by posteroanterior CT localizer radiographs.	Radiography (London, England : 1995)・2023年29巻2号334-339ページ	Original Article
325	Miyazaki, Y/Shimizu, J/Kubo, Y/他	放射線技術部	Quantitative classification of invasive and noninvasive breast cancer using dynamic magnetic resonance imaging of the mammary gland.	Journal of clinical imaging science・2022年12巻45ページ	Original Article
326	Urikura, A/Yoshida, T/Endo, M/他	放射線技術部	Computed tomographic pulmonary angiography: Three cases of low-tube-voltage acquisition with a slow injection of contrast medium.	Acta radiologica open・2022年11巻10号20584601221131400ページ	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
327	Mizusawa, J/Tokunaga, M/Machida, N/他	臨床研究支援部門	Protocol digest of a phase III trial to evaluate the efficacy of preoperative chemotherapy with S-1 plus oxaliplatin followed by D2 gastrectomy with postoperative S-1 in locally advanced gastric cancer: Japan Clinical Oncology Group study JCOG1509 (NAGISA Trial).	Japanese Journal of Clinical Oncology・2022年 53巻2号168-173ページ	Original Article
328	Mizusawa, J/Ohba, A/Ozaka, M/他	臨床研究支援部門	Protocol of a randomized phase II/III study of gemcitabine plus nab-paclitaxel combination therapy versus modified FOLFIRINOX versus S-IROX for metastatic or recurrent pancreatic cancer: JCOG1611 (GENERATE).	Japanese Journal of Clinical Oncology・2023年 53巻1号80-84ページ	Original Article

計328件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計0件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 < 研究倫理審査委員会標準業務手順書 > ・ 委員会の運用規定 ・ 審査種別ごとの手順 など < 対象指針 > ・ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ・ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 ・ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 臨床研究を含む当センターの研究に携わる者のCOI管理手順は、COI管理規程及びCOI委員会運営規程において定められている。	

1. 管理対象

管理対象については、COI管理規程第3条に定められており、臨床研究を行おうとする研究者が該当する。

2. 申告

研究者は、COI管理規程第4条により年一回の定期申告及びCOI状況の変動の都度申告を行う。

3. COI委員会

COI委員会は、COI管理規程第6条により、研究者より申告のあったCOIにつき、審査を行い、理事長に対し、意見等を述べるとともに、研究倫理審査委員会等各種倫理審査委員会委員長からの研究者のCOIの申告内容、審査結果等の開示請求があれば、これに応じることとされ、さらにCOI委員会運営規程第5条に基づき、COI委員会委員長は、研究倫理審査委員会委員長等より依頼された審査の結果については、依頼元である研究倫理審査委員会委員長等に報告することとより具体的に定められている。

4. 指導・管理

理事長は、COI委員会の意見に基づき、COIに関し、改善が必要と判断する場合、当該研究者に対し、当該研究への参加の取りやめまでも含む改善に向けた指導・管理を行う。

5. 臨床研究法対応

COI管理規定第5条により、臨床研究法施行規則第21条第2項（いわゆる「事実確認」）に関する事務権限を理事長から生命倫理部COI管理室に委譲している。

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況

年1回（合議）
※令和4年度書面審査件数
：医学系指針対象研究181
件（2123名）、医師主導治
験121件（2753名）

（注）前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3回
・ 研修の主な内容 2022年7月1日開催：一家綱邦「2022年4月施行の研究倫理指針と個人情報保護法について」 2023年1月21日開催：一家綱邦、中田はる佳他「2022年度倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修」 2023年1月30日開催：高島響子「遺伝医療・ゲノム医療の研究に関する倫理的配慮」	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

○がん専門修練医

新専門医制度対象者は基本領域専門医取得済み（旧専門医制度対象者はその基本領域の専門医もしくは認定医等を取得済み、もしくは取得見込み）、かつ、サブスペシャリティ領域専門医取得済み、もしくは取得見込みで、当院での研修により当該領域に特化した修練を目指す医師を対象とし、がんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門医を育成することを目的としている。研修年限は2年で、指導医のもとで高度の知識・技術の習得・開発、さらには臨床研究、トランスレーショナルリサーチ、基礎研究も実践する。各領域の将来のリーダーを目指す人材の育成を目的とした研修制度である。

○レジデント（3年コース・2年コース）

新専門医制度対象者は基本領域専門医取得済み、もしくは取得見込み（旧専門医制度対象者はその基本領域の専門医もしくは認定医等を取得済み、もしくは取得見込み）で、当院での研修によりサブスペシャリティ専門医を目指す者を対象に複数診療科のローテーション研修、あるいは特定診療科の研修を通して、がんに関する幅広い知識と技術の習得を目指す。我が国を代表する指導医のもとでがん診療、がん研究に従事する。日本のがん医療を支える、すぐれたがん専門医を育成することを目的とした、国立がん研究センター教育・研修制度の中核となる研修制度である。2年コースについては研修開始時期が選択可能である。

○レジデント短期コース

がん医療の均てん化に貢献することを目的として、柔軟な研修開始時期、研修期間により研修者のニーズに幅広く対応することを目的とした研修制度である。研修時期は4月、7月、10月、1月から選択可能であり、研修期間は最短で6ヶ月、最長で1年6ヶ月までである。

○専攻医コース（基幹施設型・連携施設型）

新専門医制度のもと、当センターでの研修を希望される専門医の取得を目指す者を対象としたコースである。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	158.75人
-------------	---------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
成田 善孝	脳脊髄腫瘍科	科長	31 年	標榜診療科：脳神経外科
鈴木 茂伸	眼腫瘍科	科長	29 年	標榜診療科：眼科
吉本 世一	頭頸部外科	科長	31 年	標榜診療科：耳鼻咽喉科
加藤 健	頭頸部・食道内科	科長	28 年	標榜診療科：消化器内科
赤澤 聡	形成外科	科長	21 年	
首藤 昭彦	乳腺外科	科長	38 年	
米盛 勸	腫瘍内科	科長	24 年	標榜診療科：内科

渡邊 俊一	呼吸器外科	科長	32 年	
大江 裕一郎	呼吸器内科	科長	38 年	
大幸 宏幸	食道外科	科長	29 年	標榜診療科：消化器外科
吉川 貴己	胃外科	科長	35 年	標榜診療科：消化器外科
金光 幸秀	大腸外科	科長	32 年	標榜診療科：消化器外科
加藤 健	消化管内科	科長	28 年	標榜診療科：消化器内科
斎藤 豊	内視鏡科	科長	30 年	標榜診療科：消化器内科
江崎 稔	肝胆膵外科	科長	29 年	標榜診療科：消化器外科
奥坂 拓志	肝胆膵内科	科長	32 年	標榜診療科：消化器内科
松井 喜之	泌尿器・後腹膜腫瘍科	科長	27 年	標榜診療科：泌尿器科
加藤 友康	婦人腫瘍科	科長	39 年	標榜診療科：婦人科
川井 章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	科長	36 年	標榜診療科：整形外科
山崎 直也	皮膚腫瘍科	科長	37 年	標榜診療科：皮膚科
伊豆津 宏二	血液腫瘍科	科長	29 年	標榜診療科：血液内科
福田 隆浩	造血幹細胞移植科	科長	33 年	標榜診療科：血液内科
小川 千登世	小児腫瘍科	科長	32 年	標榜診療科：小児科
上野 尚雄	歯科	医長	25 年	
佐藤 哲文	麻酔・集中治療科	科長	33 年	標榜診療科：麻酔科
里見 絵理子	緩和医療科	科長	28 年	標榜診療科：緩和ケア内科
松岡 弘道	精神腫瘍科	科長	21 年	標榜診療科：精神科
楠本 昌彦	放射線診断科	科長	37 年	標榜診療科：放射線科
井垣 浩	放射線治療科	科長	28 年	標榜診療科：放射線科
谷田部 恭	病理診断科	科長	32 年	標榜診療科：内科
山本 昇	先端医療科	科長	31 年	標榜診療科：内科
山本 昇	臨床研究支援部門	部門長	31 年	
平田 真	遺伝子診療部門	部門長	21 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

○薬剤師レジデント研修

研修の主な内容：がん薬物療法に関連する病院薬剤業務の基本的技術を修得するとともに、臨床および基礎の幅広い知識と技術の修得を図り、がん医療に精通した薬剤師を養成することを目的としている。研修期間は3年で、指導薬剤師のもとに薬剤業務や病棟業務に従事する。

研修の期間：3年間

研修の参加人数：16名（2023年3月31日の在籍者数）

○がん専門修練薬剤師研修

研修内容：国立がん研究センター薬剤師レジデント研修を修了した者、またはこれに相当する学識を有し、3年以上の臨床経験を有する者を対象とし、がん患者の薬学的管理介入や臨床薬学研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門薬剤師を育成することを目的としている。研修期間は2年で、指導薬剤師のもとで高度な知識・技術の習得・開発に努め、患者の臨床薬剤業務に従事する。

研修期間：2年間

研修の参加人数：1名（2023年3月31日の在籍者数）

○医学物理士レジデント研修

研修内容：放射線治療に必要な高度先進的な知識と技術を有する医学物理士の養成、また、チーム医療を実践する医学物理士を養成することも目的としている。研修期間は3年で分野毎に到達目標と教育プログラムの指針が定められている。また分野毎に、常勤

の認定医学物理士がレジデントの指導者となり計3施設で研修を行う。

研修期間：3年

研修の人数：2名(2023年3月31日の在籍者数)

○診療放射線技師レジデント研修

研修内容：より高度で専門的ながん教育を提供し、研究もできる、がん医療に精通した診療放射線技師を育成することを目的としている。研修期間は3年で、基本的なカリキュラムは両キャンパスにて共通項目として構成され、2年間を充当。両キャンパス交流研修を3か月間設定し、各キャンパスにのみ設置された医療機器の基礎技術を学ぶ機会も用意している。3年目は、専門性や進路を選択する期間と位置付けられ、各コースにおける特色を生かしたカリキュラムにて研修を行う。

研修期間：3年

研修の人数：2名(2023年3月31日の在籍者数)

○がん専門修練診療放射線技師研修

研修内容：国立がん研究センター診療放射線技師レジデント研修を修了した者、またはこれに相当する学識を有し、3年以上の臨床経験を有する者を対象とし、多彩なコース設定から応募者自身が選択した分野で2年間修練することでより高度な専門性を養い、グローバルで輝く、がん診療の核となり得る次世代の人材育成を行うことを目的としている。研修期間は2年で、指導診療放射線技師の下、より専門性の高い放射線診療業務や研究に従事する。

研修期間：2年

研修の人数：0名(2023年3月31日の在籍者数)

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
○研修の主な内容 ・任意研修制度・受託実習制度という研修制度があり、他の医療機関に所属する医療関係者の受け入れを行っている。対象は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士等であり、医学生や看護学生等の受け入れも行っている。 ○研修の期間・実施回数 ・研修機関：1日から1年間と幅広く設定し、延長（最長で1年）の可能である。 延長の更新回数については、制限を設けていない。 ○研修の参加人数 ・2022年度で新たに受け入れた医療従事者は13名（医師：104名、歯科医師：4名）である。 その他、学生等の受け入れを306名行った。

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2 . 現状
管理責任者氏名	病院長 島田 和明
管理担当者氏名	医療安全管理部：楠本 昌彦、高難度新規医療技術等管理室：松井 喜之、 薬剤部：橋本 浩伸、放射線技術部：谷崎 洋、臨床検査部：前澤 直樹、 統括事務部：曾我 将久、医事管理部：曾我 将久、研究管理部：後澤 乃 扶子、人材育成センター：大江 裕一郎、臨床工学部門：入江 景子

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事管理課	・診療に関する患者記録は全て（入院、外来問わず）一患者一ファイル方式で管理。 (1)診療録等は永久保存 (2)内視鏡フィルム、10年保存 (3)フィルム（内視鏡フィルム除く）、5年保存 (4)病理、細胞診プレパラート、20年保存 ・診療録の院外への持ち出しについては、原則禁止。例外的に持ち出す際は、リスクレベル評価に応じたセキュリティ対策を講じる。
		各科診療日誌	医事管理課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事管理課	
		看護記録	医事管理課	
		検査所見記録	医事管理課	
		エックス線写真	放射線技術部	
		紹介状	医事管理課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事管理課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは台帳等により管理。
		高度の医療の提供の実績	医事管理課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究管理課	
		高度の医療の研修の実績	専門教育企画室	
		閲覧実績	総務課、医事管理課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事管理課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部、医事管理課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳等により管理。規定遵守による体制維持に努めている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室 放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	放射線部門 臨床検査部門 臨床工学部門	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術等管理室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術等管理室
		監査委員会の設置状況	医療安全管理室
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理室
		職員研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理室
		管理者が有する権限に関する状況	医療安全管理室
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医療安全管理室
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医療安全管理室

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ☐ 2. 現状 ☒
閲覧責任者氏名	総務課長、医事管理課長
閲覧担当者氏名	文書管理係長、入院外来係長
閲覧の求めに応じる場所	総務部総務課、医事管理部医事管理課
閲覧の手続の概要 『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年12月5日法律第140号)』及び『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令(平成14年6月5日政令第199号)』に基づき以下の当センター規定に則り閲覧を含む開示手続を行う。 ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開手続規程(平成22年4月1日規程第49号) ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開手数料規程(平成22年4月1日規程第48号) ・国立研究開発法人国立がん研究センター情報公開審査基準(平成22年4月1日規程第50号) 具体的には、総務部総務課を情報公開窓口として、以下の手続を行う。 ①開示請求者より、法人文書開示請求書(規定様式)の提出と手数料の支払いが行われる。 ②①に不備がある場合は、補正依頼公文(規定様式)を送付する。 ③請求文書の特定と開示可否の審議を行い、審議結果に応じて、法人文書開示決定通知書又は法人文書不開示決定通知書を開示請求者に送付する。 ④請求の内容により、期限の延長又は事案の移送が必要な場合は、それぞれ規定に基づき通知公文を開示請求者に送付する。 ⑤③を受け、開示請求者が開示実施を希望する場合は、規定の実施方法等申出書を提出する。 ⑥⑤の実施方法等申出書及び開示実施に係る規定手数料を受け、文書の開示を実施する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： - 令和5年4月1日改訂 1) 医療に係る安全管理のための基本的な考え方 2) 医療に係る安全管理のための組織及び委員会等に関する基本的事項 3) 医療に係る安全管理のための職員研修 4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策 5) 医療事故等の影響度分類レベル 3b 以上またはこれに準ずる重大な有害事象発生時の対応に関する基本方針 6) 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 7) 患者からの相談への対応に関する基本方針 8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 13 回（令和4年度） ・ 活動の主な内容： 医療安全管理室へ報告される全てのインシデント・アクシデント事例、有害事象例について月1回医療安全管理部会で原因分析や再発防止対策、業務改善事項の検討をしている。その後病院長が委員長である医療事故等防止対策委員会（月1回）に報告・承認後、決定事項を医療安全担当副院長から、リスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議（月1回）にてリスクマネージャー・サブリスクマネージャーに伝達し、所属職員に周知徹底を図っている。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容（すべて）： ＜全職員研修：医療安全講演会＞ 第1回「転倒・転落を予防しよう」（R4. 7. 15～）Web開催（eラーニング） 第2回「トラブルを未然に防ぐカルテの書き方」（R4. 11. 1～） Web開催（eラーニング） ＊年2回受講率 100%	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ） 医療安全管理体制の確立・医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、医療事故等防止安全管理規程を定め、医療事故等防止対策委員会、医療安全管理部会を設置。また、各診療科・各看護単位・各部門にリスクマネージャーを配置している。インシデント・アクシデントが発生した場合は、電子カルテにログインして起動するインシデント報告分析支援システム（略称CLIP；有害事象報告を含む）を通じて、各部署より医療安全管理室に報告される体制。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議での説明・指示・伝達（月1回） インシデント防止目標の提示（隔月） 医療安全ニュースの発行（月1回） 職員全員参加の研修会の実施（年2回） 医療安全ポケットマニュアル（約200頁からなり、全職員携行を義務付）の年1回の更新 ○過去3年間の報告件数（インシデント・アクシデント）： 令和 4年度 6223件 令和 3年度 6347件 令和 2年度 6400件	

○過去3年間の報告件数（診療関連重篤有害事象）：
令和 4年度 1003件
令和 3年度 626件
令和 2年度 540件

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・指針の主な内容： 1. 感染対策の基本的考え方 2. 院内感染対策体制の整備 院内感染対策委員会、感染制御室、感染対策チーム、感染制御室長、院内感染管理者、感染制御室専任医師、抗菌薬適正使用支援チーム、抗菌薬適正使用支援者の設置について 3. 職員に対する研修に関する基本方針 4. 抗菌薬の適正な使用を目的とした職員に関する基本方針 5. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 7. 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 8. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針 9. その他抗菌薬適正使用推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容： 1. 院内感染発生動向を監視し、効率的な院内感染対策が実施できるように、感染制御室及び感染対策チームの活動支援を行う。 2. 感染制御室、感染対策チームで検討した課題や提案された事項について審議、決定を行う。 3. 新型コロナウイルス感染症の対応について、定期的にマニュアルを改訂し、周知、指導する。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・研修の内容（すべて）： ＜全職員研修＞ 「院内感染対策講演会」 第1回（令和4年5月25日）「保険診療と感染症対策」 講師：感染制御室 室長 小林 治 先生 第2回（令和4年11月1日）「手指衛生を向上させるたったひとつのコツ」 講師：順天堂大学大学院 医学研究科感染制御科 教授 堀 賢 先生 延べ受講人数：1619名 受講率：第1回100% 第2回100%（インターネット視聴・DVD視聴を含む） ＜その他＞ 実技確認の機会として、「感染対策実技トレーニング」 合同実施10回、出張・個別実施70回	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） - 院内感染上重要な病原体の検出時には、微生物検査室から担当医とともに感染制御室に電話連絡され、患者の状態を把握後、当該部署に必要な対応について指示している。 - 病院長には週に2回、感染制御室長もしくは院内感染管理者が院内の状況を日報として報告している。これらをまとめ毎月の感染対策委員会に報告している。 - アウトブレイクが疑われた場合は、速やかに調査・状況把握を開始し、必要に応じて臨時院内感染対策委員会を招集するとともに、全職員対象メールやリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議を通じて院内全体に対応を周知する体制としている。 - 重大なアウトブレイク発生時などには、保健所など外部機関に報告・相談し、速やかな終息および再発防止を図る体制となっている。 - 新たな感染症発生時には、臨時委員会の開催や講演会を実施している。 ・その他の改善のための方策の主な内容： - 流行性ウイルス性疾患について職員におけるワクチンポリシーを整備し、抗体検査結果およびワクチン接種状況を把握するとともに、抗体価が基準を満たさない職員に対するワクチン接種を推進している。	

- 新型コロナウイルスワクチンを職員へ接種を推進している。
- 感染症診療に関するコンサルテーション体制を整備するとともに、血液培養陽性例は全て感染症医が治療内容を確認し、必要に応じて介入している。
抗菌薬の使用状況を把握し適正使用を推進している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・研修の主な内容： - 麻薬管理について - がん患者の血糖管理 知識編 - がん患者の血糖管理 薬剤編 - オキシコンチンTR 錠の使い方	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (有・無) ・手順書の内訳に基づく業務の主な内容： - 医薬品の適正な購入及び各種規制を遵守した適正な管理 - 病棟常備薬の適正な配置と保管・管理状況の把握および指導 - 外来及び入院患者の処方薬の調剤及び指導 - 外来及び入院患者への医薬品の使用 - 医薬品情報の収集・管理・提供 - 持参薬鑑別による情報収集と情報共有 - 他医療機関との医薬品使用に関する情報の共有と連携医薬品の安全使用に関する教育・研修の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： - 造血幹細胞移植後のアデノウイルス感染症に対するcidofovirの投与 ・その他の改善のための方策の主な内容： - 病棟薬剤師による各病棟への医薬品安全使用に関する情報周知の徹底 - 安全性速報（ブルー・イエローレター）の院内周知の徹底 - 薬剤部HP・コンテンツの改善 - 投与時に注意が必要な薬剤に対する注意喚起を目的とした一覧の作成及び院内周知 - 複数規格のある薬剤の規格の取り違え防止を目的とした表示名称の工夫 - 同種同効薬の採用に際し、安全使用を目的として力価・包装等の院内資料を作成し配布 - ハイリスク薬に対する注意喚起のため、定義と注意事項を周知 - 適応外使用、未承認薬使用の把握及び申請における管理 - 抗がん剤レジメン審査の管理 - 院外薬局との医薬品使用に関する情報共有と連携の実施 - 薬機法に基づく医薬品の副作用報告について院内に制度の周知を実施 - 全ての注射薬抗がん剤の調剤及び投与はCSTDを使用 - 術後疼痛管理チームを組織して医薬品の適正使用を推進	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

(放射線部門)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年159回
・研修の主な内容： 新規医療機器設置後、定期点検後ならびにバージョンアップ後に 添付文書に基づく使用方法、注意点、変更点、管理方法等について研修を実施	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・機器ごとの保守点検の主な内容： 職員による日常点検の実施と不備事象の適宜報告 機器メーカーによる保守・定期点検の計画・実施・報告の実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) PMDAやメーカー、国立病院機構からの情報周知等 ・未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： (無) ・その他の改善のための方策の主な内容： 機器メーカーによる定期点検の実施、職員による日常点検の実施と不備事象の適宜報告 修理・事故原因報告に基づいた機器・ソフトの改修ならびにバージョンアップ 業務マニュアルの定期的な改訂 使用・運用マニュアルの定期的な改訂 定期的な勉強会の実施と自己研鑽の推奨 定期的なインシデント報告会、危険予知トレーニングによる医療機器の安全使用についての検討 医療安全管理室と連携し、関連職員（医師、看護師、看護助手）へのMRI磁場体験およびeラーニングの実施 放射線治療に至るまでの全体的な行程を理解する放射線治療行程研修を開催	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(臨床検査部門)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 40 回
・研修の主な内容： 新規検査機器導入時の院内研修、検査機器の保守点検・消耗品交換・不具合発生時の対応等に関するメーカー研修などを実施。入職者に対する伝達講習。 1) 新規医療機器の取り扱い説明 6回 2) 保守点検・消耗部品の交換 4回 3) 新規採用者における各装置の操作マニュアル、運用マニュアルによる研修 30回	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・機器ごとの保守点検の主な内容： IS015189:2012規格に準じたメーカーによる定期点検計画の実施・作業報告書の保管 医療機器の日常点検の実施および実施記録の保管	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無 ・その他の改善のための方策の主な内容： 1) PMDA、メーカー、国立病院機構からの情報収集 2) 日常点検の実施 3) 定期点検の実施 4) 機器操作手順書の整備・改訂・周知 5) 日当直業務実施のためのトレーニング 6) 精度に関する精度管理委員会の定期開催	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(臨床工学部門)

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年158回
・研修の主な内容： 人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器等の特定保守管理機器を中心に研修計画を立て、使用方法、管理方法、注意事項、不具合対応について実施。新規導入医療機器についても導入時、バージョンアップ後等必要に応じてもれなく実施。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・医療機器に係る計画の策定 (☒有・無) ・機器ごとの保守点検の主な内容： 除細動器、人工呼吸器、血液浄化装置、電気メス、シリンジ・輸液ポンプ、モニタ類等について、機器購入時に計画を立て、機器管理システムにて管理。設置場所職員、臨床工学技士またはメーカーによって日常点検、定期点検を実施。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 (☒有・無) ・未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無 ・その他の改善のための方策の主な内容： PMDAやメーカー、医療安全管理室より情報を収集し、勉強会（説明会）の開催、使用マニュアル改訂、現場管理者へ通知、各会議等で周知して改善している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 責任者の資格（医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、医療安全担当副院長を任命済み。 医療安全管理室の室長であり、医療事故等防止対策委員会には副委員長として出席している。 また、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者から、報告を受ける体制が構築されている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（4名） ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品情報の収集・管理・提供は主として薬剤部医薬品情報管理室にて行っており、周知は定期的（月1回）な医薬品情報誌の発行、医薬品集の発行（年1回）、タイムリーなお知らせ文書の発行等を、印刷物・メール・イントラネット掲載等を利用して行っている。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 院内で使用する医薬品は薬剤部で一元管理する体制をとっており、医薬品の適応外使用については、薬事委員会（適応外使用小委員会）で審査・報告等を行い、病院長の許可を得て使用をしている。未承認医薬品の使用については、高難度新規医療技術等評価委員会（未承認薬使用小委員会）で審査・報告等を行なう体制としている。また、薬剤部では、未承認医薬品使用、適応外使用、禁忌の使用について、所定の手続きを行っていない処方例について、薬剤師が把握した情報を集約する体制としている。 ・ 担当者の指名の有無 ☒ 有 ・ 無 ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属：各診療科，職種 医師「各診療科長」 ） （所属：看護部 ， 職種 看護師長 ） （所属：臨床検査科，職種 臨床検査技師長 ） （所属：放射線技術部 ， 職種 診療放射線技師「技術部長」） （所属：輸血管理室，職種 医師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する	

規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容

： 全死亡症例における最終治療に関する患者説明状況調査

全有害事象報告における当該事象に関する事前の患者説明状況調査

上記調査結果から対応が必要と判断した診療科に対し、改善指導の実施及び説明文書の新規作成と改訂依頼している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

☒ 有 ・ 無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療情報管理係において、退院時要約を含む診療録等の確認・管理を行い、診療統計の一部の算出を行っている。

診療情報管理委員会において、診療録や入院診療計画書の監査を実施している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒ 有 ・ 無

・ 所属職員：専従（ 7 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 5 ）名

うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 3 ）名

うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 1 ）名

うち看護師：専従（ 4 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名

うち事務員：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 0 ）名

（注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・ 活動の主な内容：

1) 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査

（定期的な現場の巡回・点検、理解度の確認、マニュアルの遵守状況の点検）

2) 医療事故防止対策マニュアルの作成及び点検、見直し

3) 部門別に作成されているマニュアルの確認及び見直しの提言

4) インシデント・アクシデント・有害事象報告

（インシデント・アクシデント・有害事象事例を体験した医療従事者が、その概要を記載した文書をいう。以下同じ）の収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価（改善策の周知確認）

5) 医療安全管理に関する最新情報の把握と職員への周知（他施設における事故事例の把握等）

6) 医療安全に関する職員への啓発、広報（月間行事の実施など）

7) 医療安全に関する教育研修の企画・運営、教育研修の理解度確認

8) 医療安全管理に係る連絡調整

※モニタリング実施状況：

医療安全管理指標として 17 項目（「インシデント・アクシデント報告件数」「有害事象報告件数」「インシデント・アクシデントレベル別割合」「患者誤認事例件数」「放射線診断レポー

ト未開封割合」「病理診断未開封レポート割合」「抗がん薬血管外漏出割合」等)についてモニタリングしている。

医療安全ニュースやリスクマネージャー会議の周知内容、医療安全講演会の内容、医療事故防止対策マニュアルの所在確認、自部署でおきたインシデントの情報共有方法、医療事故調査制度で報告すべき事案について、医療安全ポケットマニュアルの携帯状況、インシデント報告システムの確認、内部通報窓口の場所と報告方法、患者のアレルギーの入力の方法、術後の有害事象報告基準（外科医師）、適応外使用薬の申請方法（内科医師）等について、部署ラウンドで職員へ確認している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（５件）、及び許可件数（５件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術等管理室(技術提供の適否を決定する部門)が高難度新規医療技術の導入申請を受付け、部門内の関係者で確認し、高難度新規医療技術等評価委員会に申請技術の導入適否に関して意見徴取を行う。その意見に基づき、高難度新規医療技術等管理室の室長が申請技術の導入可否を決定する。導入した技術については、申請診療科に事後評価報告を依頼し、当該技術が適切に実施しているか、カルテレビューをするなどして確認している。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（２件）、及び許可件数（２件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する委員会の事務局業務及び委員会の検討結果の通知に対して承認・非承認を決定し病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ☒ ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 362 件（令和4年度）
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：

インシデント・アクシデント報告：令和4年度 6223 件

有害事象報告：令和4年度 1003 件

- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

入院患者が死亡した場合は、医師が死亡日時、治療及び死亡前の状況、治療中及び最終治療日から30日以内に発生した死亡の有無を遅滞なく報告し、医療安全管理室で内容に問題がないか毎日カルテレビューしている。死亡症例については、医事管理課から医療安全管理室へ、1週間毎に全死亡患者リストを報告する仕組みがある。死亡患者リストは、医療安全管理室で最終治療に関する説明・同意書の有無や診療内容の確認をし、病院長と複数の副院長によるカルテレビュー結果を医療安全管理室で確認し、再調査となった場合、診療科への確認と医療安全管理部会での分析・対策立案を経て、医療事故等防止対策委員会へ報告・審議となる。

重大事例については、医療安全管理室での説明・同意書の有無や診療内容の確認し、必要時は診療科と症例検討会を実施した上で、医療安全管理部会での分析・対策立案を経て、医療事故等防止対策委員会へ報告・審議となる。

死亡症例、重大事例とも、医療事故等防止対策委員会にて承認された対策は、病院長による関係診療科への指導や、医療安全担当副院長からリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議にて伝達し、職員に周知徹底を図る体制となっている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（ ☒ web 開催（病院名：東京慈恵会医科大学附属病院） ・ 無 ）
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ ☒ （病院名：東京慈恵会医科大学附属病院） ・ 無 ）
- ・ 技術的助言の実施状況

【助言の詳細】

周術期の休薬に関して、主治医から指示・説明は実施されていますが、薬の服用を中止する理由や中止することの危険性について説明をした上で、同意を取得するのが良いように思います。

ご検討ください。

【実施状況】

周術期の休薬について、薬剤を中止する理由や中止することの危険性を患者が理解できることを重視し、当院における運用を検討する。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

安全管理に係る相談窓口として、相談支援センターを設置している。

患者へは院内ポスター提示、リーフレット設置等により周知している。その後、相談支援センターから患者医療対話推進室へ対応依頼される仕組みがある。患者医療対話推進室では、相談支援センターや病棟等から相談等を受けた後、関係部署から事実関係等を聴取の上、対応を実施している。医療安全管理上の問題は、医療安全管理室へ情報共有され連携して改善策を立て対応している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

外部監査委員会や医療安全相互ラウンドで指摘された事項（アレルギー情報の患者プロフィール反映、放射線/病理診断レポート確認後の判断内容と対応内容のカルテ記載等）や特定機能病院承認要件（内部通報窓口や外部監査委員会の設置、高難度新規医療技術等の導入プロセス等）について、令和4年度第1回医療安全講演会で全職員へ周知した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「令和4年度特定機能病院管理者研修（継続・6時間）」令和5年2月3日受講

医療安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「令和4年度特定機能病院管理者研修（継続・6時間）」令和5年1月26日受講

医薬品安全管理責任者：一般社団法人日本病院薬剤師会主催

「令和 4 年度医薬品安全管理責任者等講習会」令和 4 年 11 月 11 日受講
医療機器安全管理責任者：公益財団法人日本医療機能評価機構主催

「令和 4 年度特定機能病院管理者研修（継続・6 時間）」令和 5 年 1 月 26 日受講

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

病院機能評価（一般病院 3）3rdG:Ver. 2.0

受審日：2019 年 2 月 5 日～ 2 月 7 日

認定日：2019 年 8 月 9 日（認定期限 2023 年 11 月 16 日）

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

上記について、改善要望事項に該当する項目の指摘はなかった。

公表については、病院機能評価の審査結果報告書を病院ホームページに掲載している。

・ 評価を踏まえ講じた措置

全 88 評価（S 評価:4、A 評価:69、B 評価:15、C 評価:0）において、B 評価と A 評価でも課題だと思われる項目については、2020 年 11 月の認定期間中における中間審査（改善状況報告）までに改善措置を実施した。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 (1) 病院において、以下のいずれかの業務に従事した経験を有し、医療安全管理に関する十分な知見を有するとともに、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有していること ア 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務 イ 医療安全管理委員会の構成員としての業務 ウ 医療安全管理部門における業務 エ その他上記に準じる業務 (2) 当該病院内外において組織管理経験があり、高度の医療の提供、開発及び評価等を行う特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有していること (3) 中央病院及び東病院の理念及び基本方針を十分に理解し、高い使命感を持って継続的かつ確実に職務を遂行する姿勢と指導力を有していること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 公表の方法：病院ホームページ

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				☒ 有 ・ 無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 公表の方法：病院ホームページ				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
中釜 齊	国立がん研究センター	○	病院長選考規程第3条第2項第1号に基づく役職指定者	有 ・ ☒ 無
間野 博行	国立がん研究センター		医学・医療について豊富な経験と高い見識を有する者	有 ・ ☒ 無
児玉 安司	国立がん研究センター		医学分野のコンプライアンス等に豊富な経験と高い見識を有する者	有 ・ ☒ 無
尾崎 俊雄	国立がん研究センター		法人経営・医療業務の管理・運営に豊富な経験を有する者	有 ・ ☒ 無
國土 典宏	国立国際医療研究センター		国立研究開発法人の理事長であり、また、医学・医療（病院運営）に豊富な経験と高い見識を有する者	有 ・ ☒ 無
上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科		医学（特にがん研究）において豊富な経験と高い見識を有する者	有 ・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有・無	
・合議体の主要な審議内容 病院の運営の方針、中期計画、予算及び決算その他の病院の運営に関する重要な事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病院運営会議の議事概要を作成し、病院全体に周知 内部サーバーへ掲載 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・公表の方法 病院ホームページ ・外部有識者からの意見聴取の有無（ ☒有・無 ） 規程上、議長が必要と認める者（外部有職者を含む）を病院運営会議に参加させることができるとしている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
島田 和明	○	医師	病院長
尾崎 俊雄		事務	理事長特任補佐
藤元 博行		医師	副院長
山本 昇		医師	副院長
大江 裕一郎		医師	副院長
楠本 昌彦		医師	副院長
吉本 世一		医師	副院長
關本 翌子		看護師	看護部長
古川 哲也		薬剤師	薬剤部長
奥坂 拓志		医師	内科系部門長
金光 幸秀		医師	外科系部門長
小林 望		医師	検診センター長
土田 敬明		医師	広報企画室長
谷崎 洋		診療放射線技師	診療放射線技術部長
前澤 直樹		臨床検査技師	臨床検査技師長
曾我 将久		事務	統括事務部長
佐藤 俊幸		事務	財務経理部長
柳沢 直樹		事務	人事部長
梅野 喜和		事務	企画経営課長
大島 朗		事務	財務管理課長
宇内 健治		事務	医事管理課長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有・☒無 ）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
理事会規程：病院の運営に関する事項が審議される際には、病院長は理事会に出席し、意見を述べるができる。
組 織 規 程：院長は、病院の事務を掌理する。また、特定機能病院としての機能を確保するために必要な事項に関して、理事長に意見を述べるができる旨規定。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
組織規程：副院長は、院長を助け、病院の事務を整理する。
企画経営部を設置し、センターの業務の企画及び調整に関すること、センターの経営に関することの事務をつかさどる旨規定。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 中間管理職新任研修
 - ・ 薬学生実務実習対策研修
 - ・ 障害者雇用にかかる就労支援研修
 - ・ 診療放射線技師実習技能研修
 - ・ 認定看護管理者教育課程

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況				☒ ・無	
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 監査委員会は、医療の安全の確保を図るため、理事長が設置するものとし、次に掲げる業務を行うものとする。 (1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療事故等防止対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、その他監査委員会として必要と認めるものの業務の状況について病院長、その他監査委員会として必要と認めるものから報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。 (2) 必要に応じ、理事長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行うこと。 (3) (1) 及び (2) に掲げる業務について、その結果を公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (☒・無) ・ 委員名簿の公表の有無 (☒・無) ・ 委員の選定理由の公表の有無 (☒・無) ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (☒・無) ・ 公表の方法：病院ホームページ					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
山本 修一	地域医療機能 推進機構 理事 千葉大学大学 院医学研究院 眼科学前教授 千葉大学医学 部附属病院 前病院長	○	特定機能病院の 前管理者であり、 医療に係る安全 管理に関する識 見を有する	有・ ☒ 無	1

相馬 孝博	千葉大学医学部 附属病院 医療安全担当 副院長／医療 安全管理部長		特定機能病院の 医療安全管理部 門に所属し、医療 に係る安全管理 に関する識見を 有する	有・ ☒ 無	1
川崎 志保理	順天堂大学医 学部 心臓血管外科 学・病院管理学 客員准教授		特定機能病院の医 療安全管理部門で 従事した経験があ り、医療に係る安 全管理に関する識 見を有する	有・ ☒ 無	1
田島 優子	さわやか法律 事務所 弁護士		弁護士として政 府の諮問機関等 医療問題に関わ っており、医療に 係る法律に関する 識見を有する	有・ ☒ 無	1
桜井 なおみ	一般社団法人 CSR プロジェ クト 代表理事		患者団体の代表 者であり、医療を 受ける者として、 医療安全管理に ついて識見を有 する	有・ ☒ 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
 - ・ 理事会への監事出席
 - ・ 監査室による監査
 - ・ 会計監査人による監査
 - ・ コンプライアンス室の設置
 - ・ 法令違反行為等に関する通報又は相談の受付窓口を内部・外部に設置
- ・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ ☒ 無)
- ・ 公表の方法

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 理事会、執行役員会及び内部統制推進委員会・リスク管理委員会の整備、開催。 ・ 病院長はこれらの理事会等に出席。 ・ 会議体の実施状況（ 年 12 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）（ 年 12 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ ☒ 無 ） ・ 公表の方法			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有 ・ 無
			有 ・ 無
			有 ・ 無
			有 ・ 無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法：職員研修（受講必須）、新採用オリエンテーション、医療安全ポケットマニュアル

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ● 提供している医療や先進医療、治験実施状況、研究成果や新たな取り組み等について、最新情報を随時ホームページで公開している。 ● 動画やSNSも積極的に活用し、科学的根拠に基づく診断・治療・療養について広く情報提供を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ● 主たる悪性腫瘍に対して内科・外科間の多職種カンファレンスの実施 ● 特化した治療（放射線治療、放射線診断、内視鏡センター、通院治療センター、患者サポートセンター等）と各診療科の連携 ● 転移がん、希少がん等の診療科間における協力が必要な場合の連携 ● 特殊外来（家族・遺族ケア外来、禁煙外来、遺伝相談外来）の設置 ● 多職種による医療チーム（褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、呼吸ケアチーム、術後疼痛管理チーム、認知症ケアチーム、感染制御チーム、医療安全管理チーム）の配置	